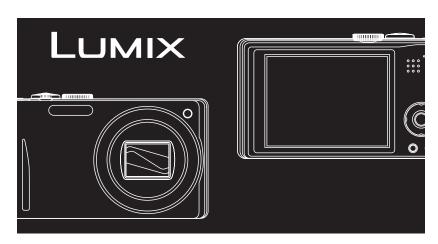
Panasonic

取扱説明書
デジタルカメラ

品番 DMC-TZ18

保証書別添付

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

●取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
●**ご使用前に「安全上のご注意」（118～121ページ）を必ずお読みください。**
●保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

VQT3Q34

撮る

カメラを向けるだけで、シーンを自動判別！
おまかせ iA

見る

写真も動画も絞り込んで一緒に連続再生！
スライドショー

残す

インターネットに画像を公開する！
WEBアップロード設定

CD-ROM（付属）のソフトフェア「PHOTOfunSTUDIO」を使って画像をパソコンで管理！
パソコン接続

PictBridge対応プリンターを使って簡単プリント！
プリンター接続

もくじ

はじめに

準備

基本

もくじ

必ずお読みください

撮影

再生・編集

他の機器との接続

その他Q&A

ご使用の前に

■本機の取り扱いについて…

本機に、強い振動や衝撃、圧力をかけないでください。
● 下記のような状態で使用すると、レンズや液晶モニター、外装ケースが破壊される可能性があります。また、誤動作や、画像が記録できなくなることもあります。
- 本機を落とす、またはぶつける
- 本機をズボンのポケットに入れたまま座る、またはいっぱいになったかばんなどに無理に入れる
- 本機に取り付けたストラップに、アクセサリーなどをぶら下げる
- レンズ部や液晶モニターを強く押さえつける

本機は、防じん・防滴・防水仕様ではありません。
ほこり・水・砂などの多い場所でのご使用を避けてください。
● 下記のような場所で使用すると、レンズやボタンのすき間から液体や砂、異物などが入ります。故障などの原因になるだけでなく、修理できなくなることがありますので、特にお気をつけください。
- 砂やほこりの多いところ
- 雨の日や浜辺など水がかかるところ

■つゆつきについて（レンズがくもるとき）…

● つゆつきは、温度差や湿度差があると起こります。レンズ汚れ、かび、故障の発生原因になりますのでお気をつけください。
● つゆつきが起こった場合、電源スイッチを[OFF]にし、2時間ほどそのままにしてください。周囲の温度になじむと、くもりが自然に取れます。

■事前に必ずためし撮りをしてください

大切な撮影（結婚式など）は、必ず事前にためし撮りをし、正常に撮影や録音されていることを確かめてください。

■撮影内容の補償はできません

本機およびカードの不具合で撮影や録音されなかった場合の内容の補償についてはご容赦ください。

■著作権にお気をつけください

あなたが撮影や録音したものは、個人として楽しむ以外は、著作権法上権利者に無断では使用できません。
個人として楽しむ目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでお気をつけください。

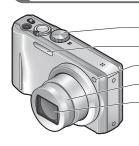
■「使用上のお願いとお知らせ」も、あわせてお読みください(P.112)

付属品

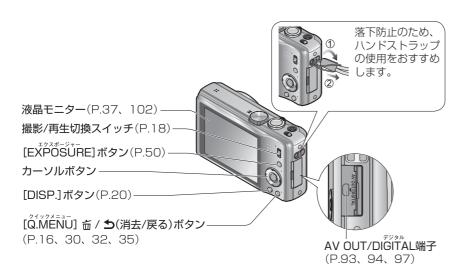
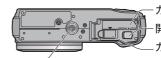
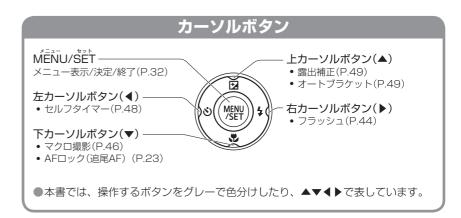
付属品をご確認ください。（品番は2011年4月現在）

□バッテリーパック DMW-BCG10 • 充電してから お使いください。 （本書では、「バッテリー」と表記します）	□ハンドストラップ VFC4297
□バッテリーチャージャー DE-A65A • 予備のチャージャーを購入されるときは、別売品のチャージャー（DMW-BTC2）をお買い求めください。 （本書では、「チャージャー」と表記します）	□USB接続ケーブル K1HY08YY0017
□CD-ROM • パソコンにソフトウェアをインストールしてお使いください。 	□AVケーブル K1HY08YY0018

●包装材料などは商品を取り出したあと、適切に処理をしてください。
●小物部品については乳幼児の手の届かないところに適切に保管してください。
●**メモリーカードは別売です。**その他、別売品については100ページを参照してください。

各部の名前

スピーカー(P.37)
マイク(P.18)
ズームレバー(P.42)
E.ZOOMボタン(P.42)
電源スイッチ(P.16)
シャッターボタン(P.18)

カーソルボタン

●本書では、操作するボタンをグレーで色分けしたり、▲▼◀▶で表しています。

● 製品のイラストや画面は、実物と異なる場合があります。

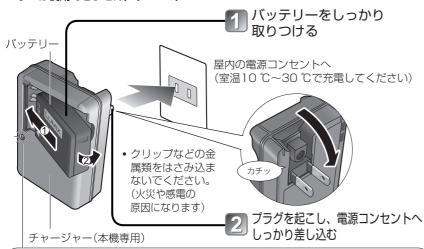
バッテリーを **充電する**

ご使用の前に、必ず充電！
（お買い上げ時には、充電されていません）

■本機で使えるバッテリー（2011年4月現在）

本機で使えるバッテリーはDMW-BCG10です。

パナソニック純正品に非常によく似た外観をした模造品のバッテリーが一部国内外で流通していることが判明しております。このようなバッテリーの模造品の中には、一定の品質基準を満たした保護装置を備えていないものも存在しており、そのようなバッテリーを使用した場合には、発火・破裂等を伴う事故や故障につながる可能性があります。安全に商品をご使用いただくために、バッテリーを使用するパナソニック製の機器には、弊社が品質管理を実施して発売しておりますパナソニック純正バッテリーのご使用をおすすめいたします。
なお、弊社では模造品のバッテリーが原因で発生した事故・故障につきましては、一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

- **本機専用のチャージャーとバッテリーを使用してください。**
- **本機には、使用できるバッテリーを判別する機能があり、専用バッテリー（DMW-BCG10）は、この機能に対応しています。（この機能に対応していない従来のバッテリーは使用できません）****（P.113）**

充電ランプ（CHARGE）

点灯　：充電中（使い切ってから充電した場合、約130分）
消灯　：充電完了（電源コンセントからチャージャーを抜いてバッテリーを外す）
点滅したら
- バッテリーの温度が低すぎる、または高すぎるため、通常よりも充電時間がかかります。（充電を完了できないことがあります）
- バッテリーやチャージャーの端子部が汚れています。乾いた布でふいてください。

撮影可能枚数や使用時間の目安

フラッシュやズーム、「液晶モード」などを多用した場合や寒冷地の低温下などでは、下記より撮影枚数や使用時間が減少することがあります。

■写真撮影

記録可能枚数	約340枚	CIPA規格に基づく
撮影使用時間	約170分	

●CIPA※1規格の撮影条件

※1 CIPAは、カメラ映像機器工業会（Camera & Imaging Products Association）の略称です。

- 温度23 ℃／湿度50 % RH
- プログラムAEモード
- 液晶モニターを点灯
- 当社製SDメモリーカード（32MB）使用
- 付属バッテリー使用
- 電源を入れ、30秒後に撮影開始（手ブレ補正「ON」）
- 30秒間隔で、1枚撮影
- フラッシュを2回に1回フル発光
- 撮影ごとにズーム操作（W端→T端、またはT端→W端）
- 10枚撮影ごとに電源を切り、バッテリーを冷ます

撮影間隔が長いと枚数は減り、例えば上記の撮影条件において2分間隔で撮影した場合は約1/4になります。

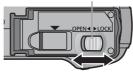
■再生

再生使用時間	約300分

使用時間と撮影枚数は、周囲環境や使用条件によって変わります。

●バッテリーの使用状況によって充電時間は変わります。また、高温/低温時や長時間使用していないバッテリーは充電時間が長くなります。
●充電中や充電後は、バッテリーが温かくなります。
●充電後でも、長期間放置すると、使わなくてもバッテリーを消耗します。
●頻繁な継ぎ足し充電はおすすめできません。
（充電回数が増えると使用時間が短くなり、バッテリーが膨らむ特性があります）
●著しく使用できる時間が短くなったときは、バッテリーの寿命です。新しいバッテリーをお買い求めください。

バッテリーやカード(別売)を入れる・取り出す

1 電源を「OFF」にし、開閉レバーを
「OPEN」にして、扉を開ける

2 バッテリーとカードを奥まで入れる

- バッテリー：
  バッテリーを奥まで、ロック音がするまで確実に挿入し、バッテリーにレバーがかかっていることを確認する
- カード：
  「カチッ」と音がするまで押し込む

3 扉を閉め、開閉レバーを「LOCK」にする

■取り出すとき

- **バッテリー：**
  レバーを矢印方向へ引く。

- **カード：**
  中央を押す。

●**使用後は、バッテリーを取り出してください。**
●カードやバッテリーの取り出しは、電源を切り、液晶モニターのLUMIX表示が消えてから行ってください。(本機が正常に動作しなくなったり、カードや撮影内容が壊れる場合があります)
●miniSDカードやmicroSDカード／microSDHCカードは、専用アダプターが必要です。アダプターだけを本機に入れたままにしないでください。(正常に動作しません)

バッテリーの代わりにACアダプター(別売)およびDCカプラー(別売)を使う

ACアダプター(別売：DMW-AC5)とDCカプラー(別売：DMW-DCC5)を使うと、バッテリー残量を気にすることなく撮影や再生ができます。
ACアダプターとDCカプラーは、必ずセットでお買い求めください。本機の場合、単独では使用できません。

1 バッテリーの代わりにDCカプラーを入れる(前ページ)

2 カプラーカバーを開ける

- 開けにくい場合は、カード/バッテリー扉を開いた状態で、内側からカプラーカバーを押して開けてください。

3 ACアダプターを電源コンセントに差し込む

4 ACアダプターをDCカプラーのDC IN端子に接続する

●必ず本機専用のACアダプターおよびDCカプラーを使用してください。それ以外を使用すると、故障の原因になることがあります。
●三脚／一脚の種類によっては、DCカプラー接続時に取り付けることができないものがあります。
●ACアダプター接続時にカード/バッテリー扉を開くときは、必ずACアダプターを抜いてください。
●使わないときは、ACアダプターおよびDCカプラーを取り外し、カプラーカバーを閉じておいてください。
●ACアダプターおよびDCカプラーの取扱説明書もお読みください。

バッテリーやカード(別売)を入れる・取り出す(つづき)

画像の保存先(カードと内蔵メモリー)

■内蔵メモリー(約70 MB)に保存するとき

●カードと内蔵メモリー間で画像をコピーできます。(P.92)

●カードよりも保存に時間がかかることがあります。

■カード(別売)に保存するとき

SD規格に準拠した次のカード(当社製推奨)が使用できます。

カードの種類	容量	備考
SDメモリーカード miniSDカード※1／ microSDカード※1	8 MB～2 GB	• 動画撮影の際は、SDスピードクラスが「Class6」以上のカードを使用してください。 • それぞれ、対応の機器でのみお使いになれます。 • SDXCメモリーカードをお使いの場合は、パソコンなどが対応しているかご確認ください。 http://panasonic.jp/support/sd_w/ • 左記の容量以外のカードは使えません。
SDHCメモリーカード microSDHCカード※1	4 GB～32 GB	
SDXCメモリーカード	48 GB、64 GB	

※1 専用のアダプターが必要

※2 SDスピードクラスとは、連続的な書き込みに関する速度規格です。カードのラベル面などでご確認ください。

(例) CLASS6

●パソコンやその他の機器でフォーマットした場合、もう一度本機でフォーマットしてください。(P.41)

●書き込み禁止スイッチを「LOCK」にすると、撮影や消去、フォーマットなどができません。

●大切な画像はパソコンなどへの保存をおすすめします。
(電磁波や静電気、故障などにより壊れたり消えることがあります)

●最新情報：http://panasonic.jp/support/dsc/

書き込み禁止スイッチ

バッテリー残量と撮影可能枚数の表示

バッテリー残量表示(バッテリー使用時のみ)

(赤点滅)

赤点滅したら、バッテリーを充電または交換してください。

残り記録可能枚数・時間の目安

カードを入れていないときに表示(内蔵メモリーに保存されます)

カードやメモリーへのアクセス動作中は…

(カード)、または (内蔵メモリー)が、赤く点灯します。

点灯中は、画像の書き込みや読み出し、消去、フォーマット中など動作中のため、電源を切ったり、バッテリーやカード、ACアダプター(別売)およびDCカプラー(別売)を取り外さないでください。(データ破損や故障の原因になります) また、本機に振動、衝撃や静電気を与えないでください。それにより動作が停止した場合は再度操作してください。

記録可能枚数・時間の目安

記録可能枚数・時間はカードの容量と比例して増減します。(撮影条件、カードの種類により変化します)

●WEBアップロード設定を行うと、カードの記録可能枚数・記録可能時間が減少することがあります。

■記録可能枚数(写真：枚)

記録画素数	内蔵メモリー	2 GB	4 GB	16 GB
4:3 14M	13	330	670	2740
4:3 5M	26	650	1300	5300
4:3 0.3M	410	10050	19940	81340

• 記録可能枚数が99999枚を超える場合は、「+99999」と表示されます。

■記録可能時間(動画撮影時)

画質設定	内蔵メモリー	2 GB	4 GB	16 GB
HD	−	8分10秒	16分20秒	1時間7分
VGA	−	21分40秒	43分10秒	2時間56分
QVGA	2分30秒	1時間2分	2時間4分	8時間28分

• 動画を連続して撮影できるのは、約2 GBまでです。(画面には、2 GBで記録できる最大記録可能時間までしか表示されません。)表の時間表記は合計時間です。

時計を合わせる

（お買い上げ時は設定されていません）

電源を入れる前に、撮影/再生切換スイッチを[📷]に合わせてください。

1 電源を「ON」にする

お買い上げ時、電源を入れると**「時計を設定してください」**と表示されます。

2 上記を表示中に[MENU/SET]を押す

3 日時と表示方法を設定する

①▲▼で年を合わせ、▶を押す
②▲▼で月を合わせ、▶を押す
③同じように日・時・分を合わせ、▶を押す
④▲▼で年月日の表示順を選び、▶を押す
⑤▲▼で時刻表示形式を選び、[MENU/SET]を押す

- 中止するとき→ 🗑 / ↩ ボタンを押す

4 [MENU/SET]を押す

- 前の画面に戻るとき→ 🗑 / ↩ ボタンを押す

5 電源を入れなおし、時計表示が正しいか確認する

- [DISP.]ボタンを数回押しても、日時を表示できます

時計を合わせ直す

日時を合わせ直すときは、セットアップメニューから「時計設定」を選んで設定します。

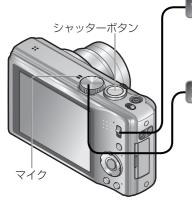
- 時計設定はバッテリーを取り出しても、約3ヵ月記憶します。（満充電のバッテリーを入れて約24時間経過した場合）

1 撮影メニューまたはセットアップメニューから「時計設定」を選ぶ（P.32）

2 日時を設定する（前ページの手順 3 の操作を行う）

●時計を設定しないと、お店にプリントを依頼するときや、「日付焼き込み」、「文字焼き込み」をした場合に正しい日付がプリントされません。
●時計設定を行っていれば、カメラの画面上に日付が表示されていなくても、正しく日付をプリントできます。

撮影の流れ

撮影の前に時計設定を確認してください。(P.16)

1 撮影モードにする

：写真や動画を撮影できます。

：撮影した写真や動画を再生できます。

2 お好みの撮影モードに合わせる

使うモードに確実に合わせる

3 カメラを構えて撮影する

写真を撮る場合

シャッターボタンを押す

① **シャッターボタンを軽く押してピントを合わせる**

半押し

② **シャッターボタンを押し込んで撮影する**

全押し

動画を撮る場合

シャッターボタンを押す

① **シャッターボタンを軽く押して、ピントを合わせる**

半押し

② **シャッターボタンを押し込んで、撮影を開始する**

全押し

③ **もう一度シャッターボタンを押し込んで、撮影を終了する**

全押し

カメラの構えかた

AF補助光ランプ

フラッシュ発光部

- 手ブレが気になるときは、両手で持ち、脇を締めて、肩幅くらいに足を開く。
- レンズを触らない。
- 動画撮影の際、マイク(P.18)を指でふさがない。
- フラッシュ発光部、AF補助光ランプをふさがない、近くで見ない。
- シャッターボタンを押す瞬間に、カメラが動かないように気をつける。

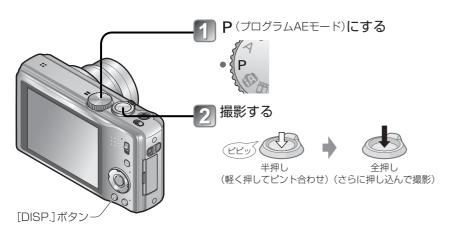
●落下防止のため、ハンドストラップの使用をおすすめします。

基本

モードダイヤル

iA	インテリジェントオートモード	カメラにおまかせで撮る。(P.22)
P	プログラムAEモード	お好みの設定で撮る。(P.20)
A	絞り優先AEモード	絞り値を決めて撮る。(P.50)
S	シャッター優先AEモード	シャッタースピードを決めて撮る。(P.51)
M	マニュアル露出モード	絞り値とシャッタースピードを決めて撮る。(P.52)
CUST	カスタムモード	あらかじめ登録しておいた設定で撮る。(P.54)
SCN	シーンモード	場面に合わせて撮る(P.55)
MS1 MS2	マイシーンモード	よく使うシーンモードで撮る(P.55)
動画	動画撮影モード	動画を撮る。(P.25)

お好みの設定で撮る「プログラムAEモード」
撮影モード：P

撮影メニューなど、各種設定を変えて、お好みの設定で撮影できます。

■画面表示を切り換える
[DISP.]ボタンを押す

DISP.

●手ブレ警告表示が表示されたときは、「手ブレ補正」、三脚、「セルフタイマー」などを使用してください。

●絞り値やシャッタースピードが赤色で表示されているときは、適正露出になっていません。フラッシュを使うか、「ISO感度」の設定を変えるか、下限シャッター速度の設定をより低速にしてください。

ピントの合わせかた

撮りたいものが中央にないときなどに便利です。

1 被写体にピントを合わせる

AFエリアを被写体に合わせ

半押しのまま

フォーカス表示
（ピントが合う：点灯
ピントが合わない：点滅）

AFエリア
（被写体にピントを合わせる。
ピントが合う：緑
ピントが合わない：赤）

2 撮りたい構図に戻し、撮影する

全押し

AFエリア

●次の被写体や撮影環境では、ピントが合いにくいことがあります。
- 動きの速い被写体
- 非常に明るい、または濃淡のないもの
- ガラス越しや光るものの近くで撮るとき
- 暗いときや手ブレしているとき
- 被写体に近すぎるとき
- 遠くと近くを同時に撮るとき

●ピントが合わないときは、フォーカス表示が点滅し、「ピピピピッ」と音がします。
ピントの合う範囲が赤色で表示されますので、参考にしてください。
なお、範囲外ではフォーカス表示が点灯しても、ピントが合っていないことがあります。

●以下の場合、AFエリアは大きく表示されます。
- デジタルズーム時
- 暗いときにピントが合いにくい場合

おまかせで撮る「インテリジェントオートモード」

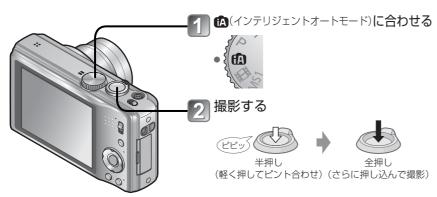
撮影モード：iA

カメラを被写体に向けると、「顔」「動き」「明るさ」「距離」などの情報から自動で最適な設定になるので、カメラまかせできれいに撮影できます。

1 iA(インテリジェントオートモード)に合わせる

2 撮影する

半押し
(軽く押してピント合わせ)

全押し
(さらに押し込んで撮影)

自動シーン判別

カメラを被写体に向けると自動でシーンを判別し、最適な設定に自動調整します。

判別した各シーンのアイコン

	「i人物」		「i夜景＆人物」※2 (i⚡A 選択時のみ)
	「i赤ちゃん」※1		
	「i風景」		「i夜景」
	「i夕焼け」		「iマクロ」
iA	どのシーンにも当てはまらないとき		

※1 個人認証機能で登録した乳幼児(3歳未満)を認識したとき

※2 三脚やセルフタイマーをおすすめします。

●撮影条件によっては、同じ被写体でも異なるシーンになることがあります。

●意図したシーンにならないときは、目的にあったシーンモードで撮影することをおすすめします。

●、、 では、顔認識が働き、認識した顔にピントや露出を合わせます。

フラッシュについて

▶を押して i⚡A(iオート)または (発光禁止)を選びます。

●i⚡A のとき、状況に応じて自動で最適なフラッシュに切り換わります(P.44)。

●i⚡S◎ と i⚡S は、シャッタースピードが遅くなります。

Happyカラーについて

「カラーモード」(P.76)を「Happy」に設定すると、はっきりとした、あざやかな色調で記録されます。

追尾AF

被写体が動いていてもピントや露出を合わせ続けることができます。

1 ▲を押してオートフォーカスモードを追尾AFにする

- 追尾AFを解除するとき→▲を押す

2 被写体を追尾AF枠に合わせ、▼を押してロックする

- ロックを解除するとき→▼を押す

●AFロックした被写体に最適なシーンを自動で判別します。

●追尾AF時、個人認証は働きません。

●被写体が小さいときや暗いときなど、撮影状況によっては、追尾AFが正しく動作しない場合があります。

おまかせで撮る「インテリジェントオートモード」（つづき）

撮影モード：iA

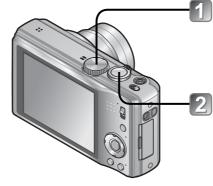
インテリジェントオートモードの制限

- ●インテリジェントオートモードで表示されないメニュー項目は設定できません。
- ●表示されないセットアップメニューの項目は、プログラムAEモードなどで設定した内容が反映されます。
- ●以下の項目では、他の撮影モードと設定できる内容が異なります。
  撮影メニューの「記録画素数」、「カラーモード」、「連写」、セットアップメニューの「操作音」
- ●次の機能は固定されます。
  - オートレビュー：2秒
  - ガイドライン表示：田
  - クオリティ：（ファイン）
  - 手ブレ補正：ON
  - AF補助光：ON
  - 測光モード：（マルチ測光）
  - 超解像：iA ZOOM
  - スリープモード：5分
  - ホワイトバランス：AWB
  - ISO感度：iISO
  - オートフォーカスモード：（顔認識）※
  - クイックAF：ON
  - 暗部補正：中
  - デジタル赤目補正：ON

  ※ 顔が認識できないときは（23点）
- ●次の機能は使えません。
  「ヒストグラム表示」「露出補正」「オートブラケット」
  「ホワイトバランス微調整」「デジタルズーム」「下限シャッター速度」

動画を撮る

撮影モード：

音声付き動画を記録します。

1 モードダイヤルを（動画モード）に合わせる

2 シャッターボタンを押して、撮影を開始する

- ●シャッターボタンは全押し後すぐに放してください。
- ●動画撮影中も、ズーム操作ができます。
  - ズームスピードは通常より遅くなります。
  - 動画撮影時にズーム操作を行うと、ピントが合うまでに時間がかかることがあります。

3 シャッターボタンを押して、撮影を終了する

- ●記録・消去を何度も繰り返していると、SDカードの記録可能時間が短くなる場合があります。そのときは、本機でSDカードをフォーマットしてください。フォーマットすると、SDカードに記録されているすべてのデータが消去されますので、大切なデータは事前にパソコンなどに保存しておいてください。
- ●手ブレ補正は、「ON」固定となります。
- ●次の機能は使えません。
  追尾AF、EX光学ズーム、フラッシュ、個人認証、縦位置撮影時の自動回転表示
- ●カードによっては、途中で撮影が終了することがあります。
- ●動画撮影時の環境によっては、静電気や電磁波などにより、一瞬画面が黒くなったり、ノイズが記録される場合があります。
- ●ACアダプターを使用して動画を撮影している最中に、停電やACアダプターを抜くなどして電源の供給がとだえると、撮影途中の動画は記録されません。

画像を見る（通常再生）

再生モード：▶

カードが入っているときはカードの画像を、入っていないときは内蔵メモリーの画像を再生します。

1 カーソルボタンで画像を選ぶ

前へ　次へ

• 長押しすると早送り／早戻しできます。

2 画像を見る

画像番号／トータル枚数

フォルダー／ファイル番号

■画面表示を切り換える

[DISP.]ボタンを押す

●パソコンで編集した画像は、本機で再生できない場合があります。

●電源を入れた状態で撮影/再生切換スイッチを 📷 から ▶ に切り換えると約15秒後にレンズ鏡筒が格納されます。

●本機は（社）電子情報技術産業協会（JEITA）にて制定された統一規格DCF（Design rule for Camera File system）および、Exif（Exchangeable Image File Format）に準拠しています。
DCF規格に準拠していないファイルは再生できません。

動画を見る

1 動画アイコンが付いた画像を選び、▲を押す

再生が始まります。

動画記録時間

再生を開始すると、画面右上に再生経過時間が表示されます。
例）3分30秒のとき：3m30s

動画アイコン（撮影モードや画質設定により異なる）

■動画再生中の操作

▲：一時停止／再生
▼：終了
◀：早戻し（2段階）
（一時停止中）コマ戻し
▶：早送り（2段階）
（一時停止中）コマ送り

• 早戻し/早送り中に▲を押すと、通常の再生速度になります。
• 音量はズームレバーで調整できます。

●他機で撮影した動画は、正しく再生できないことがあります。

●パソコンで見る場合は、CD-ROM（付属）の「PHOTOfunSTUDIO」または「QuickTime」で再生できます。

画像を見る（通常再生）（つづき）

再生モード：▶

拡大して見る「再生ズーム」

1 ズームレバーをT側に回す

T側に回すごとに1／2／4／8／16倍にズームします。
（表示画質は粗くなる）

2 カーソルボタンで、拡大部分の位置を移動する

• ズームレバーをW端に回すと拡大倍率を小さくできます。

●動画再生時は、再生ズームは使えません。

画像を一覧で見る「マルチ再生」

1 一覧で表示する

• ズームレバーをさらにW側に回すと、12画面表示→30画面表示→カレンダー再生に切り換わります。（T側に回すと戻ります）
• 12画面または30画面で画像をカーソルボタンで選択し、[MENU/SET]ボタンを押すと、1画面表示されます。

●「！」と表示される画像は再生できません。

画像を撮影日ごとに見る「カレンダー再生」

1 ズームレバーを何度かW側に回す

2 カーソルボタンで表示する撮影日を選択し、[MENU/SET]を押す

選んだ日付に撮影された画像が12画面表示されます。

●カレンダー画面は、撮影画像のある月のみ表示されます。また、時計設定せずに撮影した画像は、2011年1月1日に表示されます。
●「ワールドタイム」で旅行先を設定して撮った画像は、旅行先の日付でカレンダー画面に表示されます。

基本

画像を消す（消去）

再生モード：▶

カードが入っているときはカードの画像を、入っていないときは内蔵メモリーの画像を消去します。（一度消した画像は元に戻せません）

[DISP.] ボタン

1 消去する画像を表示中に押す

Q.MENU

• 確認画面が表示されます。カーソルボタンで「はい」を選び、[MENU/SET] を押す。

●消去中は、電源を切らないでください。
●十分に充電したバッテリーか、ACアダプター（別売）およびDCカプラー（別売）をご使用ください。
●プロテクトした画像は消去されません。また、次の場合も消去されません。
  • カードのスイッチが「LOCK」になっている
  • DCF規格（P.26）以外の画像

複数消去（50枚まで）／全画像を消去する

（手順 1 の後に）

2 カーソルボタンで「複数消去」／「全画像消去」を選び、[MENU/SET] を押す

●複数のとき
カーソルボタンで画像を選び、[DISP.] ボタンを押す

選んだ画像

• 解除するとき→再度 [DISP.] ボタンを押す
• 実行するとき→[MENU/SET] を押す

• 「全画像消去」のとき「お気に入り」画像があると、「★（お気に入り）以外全消去」が選べます。（P.88）
• 確認画面が表示されます。カーソルボタンで「はい」を選び、[MENU/SET] を押す。
• 消去枚数により、時間がかかることがあります。

メニューを使って設定する

メニュー操作は、以下の手順例を参考に操作してください。

■メニュー画面について

メニュー操作で使うボタン

Ⓐ：[MENU/SET]
- メニュー画面の表示
- 選択項目の決定

Ⓑ：カーソルボタン
- 項目や設定の選択

Ⓒ：🗑/↶ ボタン
- 前の画面に戻る

メニュー画面の説明

Ⓓ：メニューの説明
Ⓔ：メニュー項目
Ⓕ：操作の説明

■メニュー操作の流れ

（例）プログラムAEモード中に撮影メニューの「オートフォーカスモード」を変更する場合

メニュー画面を表示する

1 [MENU/SET]を押す

メニュー選択画面が表示されます。

メニューの種類を選ぶ

2 「撮影」メニューを選び、[MENU/SET]を押す

メニュー項目を選ぶ

3 ▲▼で「オートフォーカスモード」を選び、[MENU/SET]を押す

Ⓖ：ページ
　ズームレバーでもページを切り換えられます。

設定を変更する

4 ▲▼を押して設定を選び、[MENU/SET]を押す

選択した内容で設定されます。
- キャンセル→🗑/↶ ボタン

Ⓗ：設定内容
Ⓘ：選択されている設定

メニュー画面を終了する

5 🗑/↶ ボタンを数回押す

メニューが終了し、元の画面に戻ります。

●本書の操作画面例は、実物と異なる場合や一部を省略している場合があります。
●モードにより、表示されるメニューの種類や項目は異なります。
●メニュー項目により、設定方法が異なります。
●撮影モード時は、シャッターボタン半押しでもメニュー画面を終了できます。

メニューの種類

撮影メニュー(撮影/再生切換スイッチ：📷)

お好みの設定で写真を撮影したい！（P.69）
• 色合いや感度、横縦比、画素数などが設定できます。

動画メニュー(撮影/再生切換スイッチ：📷)

お好みの設定で動画を撮影したい！（P.78）
• 画質などが設定できます。

セットアップメニュー(撮影/再生切換スイッチ：📷 ▶)

本機をより便利に使いたい！（P.36）
• 時計設定や操作音の切り換えなど、使いやすさの設定ができます。

再生モードメニュー(撮影/再生切換スイッチ：▶)

撮った画像を見たい！（P.79）
• スライドショーで見たり、表示する画像を絞り込んだりするなど、再生方法を選べます。

再生メニュー(撮影/再生切換スイッチ：▶)

撮った画像を活用したい！（P.82）
• 画像の保護、切り抜き、プリント設定など、撮影した画像に対して設定ができます。

●撮影モードにより、次のメニューも表示されます。
• シーンモード時：シーンメニュー(P.55)
• カスタムモード時：カスタムメニュー(P.53)

クイックメニューを使う

撮影時に一部のメニュー項目を簡単に呼び出して設定できます。

1. [Q.MENU]ボタン(🗑 / ↩ ボタン)を押す
2. ◀▶でメニュー項目を選ぶ
3. ▲▼で設定内容を選ぶ
4. [MENU/SET]を押す

●撮影モードにより表示されるメニュー項目と設定項目が異なります。

セットアップメニューを使う

セットアップメニューの設定方法は、32ページへ

「時計設定」「エコモード」「オートレビュー」は、日時や電源などに関する大切な項目です。使う前に設定を確認してください。

メニュー項目	設定内容・お知らせ
時計設定 (P.16)	日時と表示方法を設定する。
ワールドタイム お住まいの地域と海外旅行先の日時を設定する。(P.67)	**旅行先**：海外旅行先の日時にする。 **ホーム**：お住まいの地域の日時にする。
トラベル日付 旅行何日目かを記録する。(P.66)	**トラベル日付設定** **設定**(出発日と帰着日を記録する)／**OFF**
	旅行先 **設定**(旅行先を文字で入力する)／**OFF**
操作音 操作音やシャッター音を変えます。	**操作音音量** ／／：音量小／大／切から選ぶ
	操作音音色 ❶／❷／❸：操作音の種類を選ぶ
	シャッター音音量 ／／：シャッター音量小／大／切から選ぶ
	シャッター音音色 ❶／❷／❸：シャッター音の種類を選ぶ

メニュー項目	設定内容・お知らせ
スピーカー音量 スピーカー音量を調整します。(7段階)	0／1／2／3／4／5／6 • テレビ接続時、テレビのスピーカーの音量は調整できません。
カスタムセット登録 現在のカメラの設定を登録します。(P.53)	C1／C2／C3
液晶モード 液晶モニターを見やすくします。	**オートパワーLCD**：周囲の明るさに応じて、自動的に明るさを調整する。 **パワーLCD**：画面を通常よりも明るくする。(屋外向き) **ハイアングル**：高い位置から撮るときに見やすくする。(正面からは見にくくなります) OFF • 再生モードでは､「オートパワーLCD」「ハイアングルモード」は選択できません。 • 「パワーLCD」は、撮影時に30秒間操作をしないと通常の明るさに戻ります。(いずれかのボタンを押すと再び明るくなります) • 液晶モニターの画面に表示される画像の明るさを強調しているため、被写体によっては実際と違って見える場合がありますが、記録される画像に影響はありません。 • 「ハイアングル」は、電源を切ると(「スリープモード」含む)解除されます。 • 「液晶モード」を設定すると、撮影枚数や使用時間が減少します。
ガイドライン表示 撮影情報の表示とガイドラインの種類を選びます。	**撮影情報** **ON**(ガイドライン表示中に撮影情報を表示する)／**OFF**
	パターン ／：ガイドラインの種類を選ぶ • インテリジェントオートモード時は、 のみ表示されます。また、撮影情報とガイドラインを同時に表示することはできません。

基本

セットアップメニューの設定方法は、32ページへ

メニュー項目	設定内容・お知らせ
ヒストグラム表示 画像の明るさをグラフで見ます。	ON／OFF 山が中央にあるときが適正な明るさ（適正露出）です。 露出補正などの参考にします。 （例）暗い ← 適正 → 明るい • フラッシュ発光時や暗いところで撮影する場合は、再生時とヒストグラムが一致しないためオレンジ色で表示されます。また、画像編集ソフトなどのヒストグラムと一致しないことがあります。 • iA（インテリジェントオートモード）、「フォトフレーム」、再生ズーム中は表示されません。
ズーム位置メモリー 電源を切ったときのズーム位置を記憶します。	ON／OFF • シーンモードの「自分撮り」では設定できません。
ECO エコモード 使わない間、電源を切ったり、液晶モニターを暗くしてバッテリーの消費を防ぎます。	**スリープモード** 2分／5分／10分／OFF：設定した時間の間に何も操作をしないとき、自動的に電源が切れる • 再度使うとき→シャッターボタン半押し、または電源を入れ直す • 次のときは働きません。 ACアダプター（別売）およびDCカプラー（別売）使用時、パソコン・プリンター接続時、動画撮影／再生時、スライドショー中、自動デモ再生中 • インテリジェントオートモード時は「5分」に固定されます。
	液晶パワーセーブ ON／OFF：液晶モニターを暗くして消費電力を抑える。 • 撮影中は、液晶モニターの表示画質を下げてバッテリーの消耗を防ぎます。（デジタルズーム領域を除く）ただし、記録される画像に影響はありません。 • 液晶モニターの輝度は「液晶パワーセーブ」よりも「液晶モード」の設定が優先されます。

メニュー項目	設定内容・お知らせ
オートレビュー 撮影直後に写真を自動表示します。	**1秒／2秒** **ホールド**：いずれかのボタン（[DISP.]ボタン、[E.ZOOM]ボタン以外）を押すまで自動再生画面のままにする OFF • インテリジェントオートモードは、「2秒」に固定されます。 • 「オートブラケット」、「連写」、シーンモードの「パノラマアシスト」「高速連写」「フラッシュ連写」「フォトフレーム」は、設定にかかわらず撮影直後に自動表示されます。 • 動画はオートレビューできません。
番号リセット 画像のファイル番号をリセットします。	• 新しいフォルダーを作成し、ファイル番号を0001にリセットします。 • フォルダー番号は100～999まで作成されます。 フォルダー番号が999になるとリセットできません。 必要な画像をパソコンなどに保存してから本機でフォーマットをしてください。（P.41） • フォルダー番号を100にリセットするには： まず、内蔵メモリーまたはカードを本機でフォーマットし、「番号リセット」で「はい」を選ぶ。その後、フォルダー番号のリセット画面で「はい」を選ぶ。
設定リセット 撮影メニューとセットアップメニューの設定をお買い上げ時の設定に戻します。	**撮影設定**
	セットアップ設定
	• 撮影設定をリセットすると、「個人認証」で登録したデータもリセットされます。 • セットアップ設定をリセットした場合、以下もリセットされます。 シーンモードの「赤ちゃん」と「ペット」の月齢/年齢と名前 • フォルダー番号、時計設定はリセットされません。 • レンズ機能のリセットにより、動作音がすることがありますが、異常ではありません。

基本

セットアップメニューの設定方法は、32ページへ

メニュー項目	設定内容・お知らせ
USB USBモード USB接続ケーブルでパソコンやプリンターに接続するときの通信方法を選びます。	**接続時に選択**：パソコンまたはPictBridge対応プリンターに接続したときに、毎回「PC」または「PictBridge(PTP)」を選ぶ **PictBridge(PTP)**：PictBridge対応プリンターに接続するときに選ぶ **PC**：パソコンに接続するときに選ぶ
映像出力 本機をテレビなどに接続したときの設定を変更します。	**ビデオ出力方式** **NTSC**(日本やアメリカなど)／**PAL**(ヨーロッパなど)
	TV画面タイプ(AVケーブル接続時に働きます) 16:9／4:3
回転表示 縦向きに撮った写真を自動的に回転して表示します。	：回転表示ON ：　テレビに接続して再生するときのみ回転表示 OFF • 動画は、回転表示できません。 • レンズの付いた面を上や下に向けて撮影した写真や、他機で撮影した写真は、回転されない場合があります。 • マルチ再生時は回転して表示されません。 • パソコンではExif(P.26)に対応した環境(OS、ソフトウェア)でのみ、回転して表示されます。
Ver. バージョン表示 本体のファームウェアのバージョンを確認します。	現在のバージョンが表示されます。

メニュー項目	設定内容・お知らせ
フォーマット 「内蔵メモリーエラー」または「メモリーカードエラー」が表示されたときや、内蔵メモリーまたはカードを初期化するときに行います。 **フォーマットすると、データを元に戻すことができません。よく確認してからフォーマットしてください。**	• 十分に充電したバッテリーまたはACアダプター(別売)およびDCカプラー(別売)が必要です。内蔵メモリーをフォーマットするには、カードを抜いてください。(カード挿入状態では、カードのみ、カードがない場合は、内蔵メモリーのみフォーマットされます) • フォーマットは、必ず本機で行ってください。 • **プロテクトされた画像も含め、すべてのデータが消去されます。** • フォーマット中は、電源を切ったり、他の操作をしないでください。 • 内蔵メモリーのフォーマットには時間がかかることがあります。 • フォーマットできないときは、販売店にご相談ください。
DEMO デモモード 機能のデモを表示します。	**手ブレ補正デモ：** 手ブレをグラフで表示する(目安) 手ブレ量 補正後の手ブレ量 • デモ画面表示中は、[MENU/SET]を押すごとに、手ブレ補正がONとOFFに切り替わります。 • 再生モード時は、表示できません。
	自動デモ：本機の特長をスライドショーで見る **ON**／**OFF** • 「自動デモ」はテレビなどには表示できません。

基本

ズームを使って撮る

撮影モード：iA P A S M MS1 MS2 SCN

「光学ズーム」では16倍、記録画素数を下げると「EX光学ズーム」が働き、最大33.8倍までズームできます。さらにズームしたいときは、「iA ZOOM」や「デジタルズーム」が使えます。

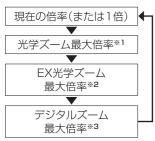
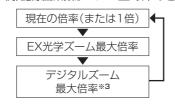
1 ズームする

- ズームレバーを回す角度で、ズームの速さを2段階に調整できます。

「イージーズーム」で最大倍率まですばやくズームする

1 「E.ZOOM」ボタンを押す

- 押すたびに倍率が変わります。

例)記録画素数が10.5 M以上のとき

例)記録画素数が10 M EZ 以下のとき

※1 iAズームが働いているときは、最大倍率はiAズームの設定が適用されます。

※2 記録画素数が一時的に小さくなります。(4:3 → 3 M、3:2／1:1 → 2.5 M、16:9 → 2 M)

※3 撮影メニューの「デジタルズーム」が「ON」に設定されている場合

●ピントは、ズームした後に合わせてください。
●ズーム中、レンズ鏡筒には触れないでください。
●倍率、画面のバー表示は目安です。
●ズームレバーを操作すると、多少音がしたり振動したりしますが、故障ではありません。

ズームの種類と用途

記録画素数を変更すると、ズーム倍率が変わります。

■光学ズーム W T

撮影メニューの「記録画素数」で EZ の付いていないものを選んだ場合、最大16倍までズームできます(P.75)。

■EX光学ズーム EZ W T

撮影メニューの「記録画素数」で EZ の付いたものを選んだ場合、最大33.8倍までズームできます(P.75)。EZは、extended optical zoomの略で、EX光学ズームを表します。

●次のとき、EX光学ズームは働きません。
- ズームマクロ
- シーンモードの「変身」「高感度」「高速連写」「フラッシュ連写」「ピンホール」「フォトフレーム」
- 動画撮影時

さらに倍率を上げたいときは、次のズームを併用できます。

■iAズーム iA ZOOM W T

超解像技術によって、画像をほとんど劣化させずに、元のズーム倍率の約1.3倍までズーム倍率を上げることができます。撮影メニューの「超解像」で「iA ZOOM」を選んでください(P.75)。

●「iA ZOOM」にすると、画像に超解像技術が適用されます。
●以下の場合、iAズームが働きます。
- インテリジェントオートモード
- シーンモード(「高感度」「高速連写」「フラッシュ連写」「ピンホール」以外)

■デジタルズーム W T

最大ズーム倍率がさらに4倍になります。ただし、ズームするほど画質は粗くなります。撮影メニューの「デジタルズーム」を「ON」にしてください(P.75)。

●次のとき、デジタルズームは働きません。
- インテリジェントオートモード
- シーンモードの「変身」「高感度」「高速連写」「フラッシュ連写」「ピンホール」「サンドブラスト」「フォトフレーム」

フラッシュを使って撮る

撮影モード：iA P A S M MS1 MS2 SCN

1 ▶で「フラッシュ」を表示する

2 カーソルボタンで種類を選び、[MENU/SET]を押す

種類と動作		こんなときに
⚡A	オート • 発光する／しないを自動で判断	通常使用
⚡A◎	赤目軽減オート※1 • 発光する（赤目をおさえる）／しないを自動で判断	暗い場所で人物を撮る
⚡	強制発光 • 必ず発光する	逆光または蛍光灯など照明の下で撮る
⚡◎	赤目軽減強制発光※1 • 必ず発光する（赤目をおさえる）	
⚡S◎	赤目軽減スローシンクロ※1 • 発光する（赤目をおさえ、シャッタースピードを遅くして明るく撮る）／しないを自動で判断	夜景を背景に人物を撮る（三脚をおすすめします）
⊘	発光禁止 • 発光しない	フラッシュ禁止の場所

※1 フラッシュが2回発光します。2回目の発光終了まで動かないようにしてください。また発光する間隔は被写体の明るさにより異なります。
撮影メニューの「デジタル赤目補正」を「ON」に設定すると、アイコンに 🖉 が表示され、赤目を自動的に検出して画像データを修正します。（「オートフォーカスモード」が 顔 （顔認識）のときのみ）

■撮影モード別の使えるフラッシュの種類（▭：お買い上げ時の設定）

	iA	P A	S M										
⚡A	○※2	○	○	○	○	×	○	×	×	×	○	×	○
⚡A◎	×	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	○
⚡	×	○	○	○	○	×	○	×	×	○	○	×	○
⚡◎	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×
⚡S◎	×	○	×	×	×	○	×	○	○	×	×	○	×
⊘	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○

※2 被写体や明るさに応じて、i⚡A、i⚡A◎、i⚡S◎、i⚡S になります。

• 動画の撮影やシーンモードの 、、、、、、、 では、フラッシュは使えません。

■ISO感度「AUTO」設定時のフラッシュ撮影可能範囲

W端時	約60 cm～約5.0 m
T端時	約1.0 m～約2.8 m

- シャッタースピードは次のようになります。
  - ⚡A、⚡A◎、⚡、⚡◎：1/60※3～1/4000秒
    ⚡S◎、⊘：1※3,4～1/4000秒
    ※3「下限シャッター速度」の設定によって異なる。
    ※4「下限シャッター速度」を「AUTO」に設定している場合、「手ブレ補正」が「ON」のときに手ブレを検知しているときは最大1/4秒。その他、「インテリジェントオートモード」と「シーンモード」のシーンなどによって異なる。
- 赤目軽減の効果には個人差があり、被写体までの距離や被写体の人が予備発光を見ていないなどの条件によって、効果が現れにくい場合があります。
- フラッシュ発光部（P.8）を手でふさいだり、近く（数cm）で見たりしないでください。また、ものを近づけないでください。（熱や光で変形することがあります）
- 撮影モードを変えるとフラッシュ設定が変わることがあります。
- シーンモードを変えると、フラッシュ設定はお買い上げ時の設定に戻ります。
- ズームを使わずに、至近距離（W端付近）でフラッシュを使って撮影すると、画像の端が暗くなることがあります。少しズームすると改善することがあります。
- ⚡A（オート）などのマークが点滅中はフラッシュ充電中のため、撮影できません。
- 光が十分に届かないときは、適切な露出やホワイトバランスにならない場合があります。
- バッテリー残量が少ないときや、連続して発光させたときは、フラッシュの充電に時間がかかることがあります。

近づいて撮る

撮影モード：PASM

被写体を大きく撮影したいとき、「AFマクロ(AF🌷)」にすると、通常ピントが合う距離よりも近づいて(W端なら3 cmまで)撮影できます。

1 ▼で「マクロ撮影モード」を表示する

2 カーソルボタンで「AFマクロ」を選び、[MENU/SET]を押す

AF🌷 を表示

■「TELE🌷 テレマクロ」被写体に近づかずにアップで撮る

「AFマクロ」設定中は、ズームをT端にすると自動的に「テレマクロ」が働き、被写体に1 mまで近づいてもピントが合います。(AF🌷 が TELE🌷 に変わる)

「🔍 ズームマクロ」もっとアップで撮る

被写体をさらに大きく撮影したいときは、「ズームマクロ」にすると「AFマクロ」撮影よりも大きく写し出すことができます。

1 ▼で「マクロ撮影モード」を表示する

2 カーソルボタンで「ズームマクロ」を選び、[MENU/SET]を押す

3 ズームレバーでデジタルズームの倍率を調節する

ズーム位置はW端固定となります。ピントの合う距離は、3 cm～∞です。

デジタルズーム倍率(1倍～3倍)

●ズームマクロでは、倍率を上げるほど画質は粗くなります。
●ズームマクロを設定すると、EX光学ズーム、iAズームは働きません。
●「追尾AF」を設定すると、ズームマクロは解除されます。

ピントの合う範囲(最短撮影距離)

被写体に近づきすぎると、ピントが合いません。ズーム倍率と「マクロ撮影モード」の設定により、最短撮影距離が異なります。

光学ズーム時 ズーム倍率(目安)	最短撮影距離※1	
	マクロ撮影モード AF🌷※2	マクロ撮影モード OFF※3
1×	3 cm	50 cm
2×	10 cm	50 cm
3×	20 cm	50 cm
4×	40 cm	50 cm
5×	1 m	1 m
6×	1.5 m	1.5 m
7×～11×	2 m	2 m
12×～15×	1.5 m	2 m
16×	1 m	2 m

※1 最短撮影距離は、レンズ前から被写体までの距離です。また、ズームの位置により段階的に変化します。
※2 次の場合の最短撮影距離も同じです。
- インテリジェントオートモード
- シーンモードの「料理」「キャンドル」「赤ちゃん」「ペット」「高感度」「高速連写」「フラッシュ連写」「ピンホール」「サンドブラスト」「ハイダイナミック」「水中」

※3 次の場合の最短撮影距離も同じです。
- シーンモードの「人物」「美肌」「変身」「パノラマアシスト」「スポーツ」「パーティー」「夕焼け」「星空」「ビーチ」「雪」「フォトフレーム」

●上記以外のシーンモードは、シーンによってピントの合う範囲が異なります。

●被写体が遠くにある場合は、ピントが合うのに多少時間がかかります。
●三脚や「セルフタイマー」の使用をおすすめします。また、近距離で撮影するときは、「フラッシュ」を「発光禁止」Ⓢ に設定することをおすすめします。
●被写体が近い場合、ピントを合わせた後にカメラを動かすと、ピントが合いにくくなります。
●画像周辺の解像度が少し下がる場合があります。

撮影

セルフタイマーで撮る

撮影モード：iA P A S M MS1 MS2 SCN

三脚の使用をおすすめします。セルフタイマーを2秒に設定すると、シャッターボタンを押したときのカメラのブレを防ぐのにも効果的です。

1 ◀で「セルフタイマー」を表示する

2 カーソルボタンで時間を選び、[MENU/SET]を押す

3 撮影する

シャッターボタンを全押しすると、設定時間後に撮影します。

セルフタイマーランプ
（設定時間の間点滅します）

• カウントダウン中に中止するとき→[MENU/SET]を押す

●シャッターボタンを一度に全押ししても、撮影直前にカメラが自動的にピントを合わせます。
●セルフタイマーランプは点滅後、AF補助光として点灯することがあります。
●シーンモードの「水中」、「高速連写」では使用できません。
●シーンモードの「自分撮り」では「10秒」は選べません。

露出を補正して撮る

逆光時や、暗すぎる/明るすぎる場合に露出を補正します。

■撮影モード：P A S MS1 MS2 SCN 動画

1 ▲で「露出補正」を表示する

2 カーソルボタンで値を選び、[MENU/SET]を押す

• 暗すぎるときは、「＋」方向へ補正します。
• 明るすぎるときは、「－」方向へ補正します。
• 露出補正後は、補正値（ +1/3 など）が表示されます。
• 設定した露出補正値は、電源をOFFにしても記憶されます。

●明るさによっては、補正できない場合があります。
●シーンモードの「星空」では、露出補正ができません。

露出を自動的に変えながら撮る「オートブラケット」

露出を自動で変えながら、3枚連写します。「露出補正」後は、補正値を基準にします。

■撮影モード：P A S M MS1 MS2 SCN

1 ▲を数回押して、「オートブラケット」を表示する

2 カーソルボタンで補正幅を選び、[MENU/SET]を押す

「露出補正」後は補正値を表示

• 1枚目は補正なし、2枚目は－方向へ補正、3枚目は＋方向へ補正した写真になります。
• 電源を切ると解除されます。

●オートブラケットではフラッシュは使えません。
●オートブラケットを設定すると「連写」は解除されます。
●シーンモードの「変身」「パノラマアシスト」「高速連写」「フラッシュ連写」「星空」「ピンホール」「サンドブラスト」「フォトフレーム」ではオートブラケットは設定できません。

絞りやシャッタースピードを決めて撮る

撮影モード：Ａ Ｓ Ｍ

絞りを決めて撮る「絞り優先AEモード」

撮影意図に合わせて、ピントが合う範囲(被写界深度)をコントロールして撮影できます。
設定した絞り値に合わせて、シャッタースピードを自動調節します。

1 モードダイヤルを[A]に合わせる

2 [EXPOSURE]ボタンを押し、カーソルボタンで絞り値を選ぶ

絞り値

- 絞りの値を大きくすると、ピントが合う奥行きが広がり、手前から背景までくっきりと写ります。
- 絞りの値を小さくすると、ピントが合う奥行きが浅くなり、背景をぼかしたりできます。

3 [EXPOSURE]ボタンを押して決定する

シャッタースピードを決めて撮る「シャッター優先AEモード」

撮影意図に合わせて、シャッタースピードをコントロールして撮影できます。
設定したシャッタースピードに合わせて、絞りを自動調節します。

1 モードダイヤルを[S]に合わせる

2 [EXPOSURE]ボタンを押し、カーソルボタンでシャッタースピードを選ぶ

シャッタースピード

- シャッタースピードを速くすると、被写体の動きが止まって写ります。
- シャッタースピードを遅くすると、動いている被写体はブレて写ります。

3 [EXPOSURE]ボタンを押して決定する

絞りやシャッタースピードを決めて撮る（つづき）

撮影モード：A S M

絞りとシャッタースピードを決めて撮る「マニュアル露出モード」

露出補正などで望んだ露出（明るさ/暗さ）で撮影できない場合に、絞り値とシャッタースピードを任意に設定できる撮影モードです。また、最大60秒までの長秒撮影ができます。

1 モードダイヤルを［M］に合わせる

• マニュアル露出アシストが表示されます。

2 ［EXPOSURE］ボタンを押し、カーソルボタンで絞り値とシャッタースピードを選ぶ

絞り値／シャッタースピード

3 ［EXPOSURE］ボタンを押して決定する

■マニュアル露出アシスト（目安）

シャッターボタンを半押しすると、マニュアル露出アシストが表示されます。

-2 -1 ±0 +1 +2	標準的な明るさに写ります。
-2 -1 ±0 +1 +2	明るく写ります。標準的な明るさにするには、シャッタースピードを速くするか、絞り値を大きくします。
-2 -1 ±0 +1 +2	暗く写ります。標準的な明るさにするには、シャッタースピードを遅くするか、絞り値を小さくします。

●明るすぎる、暗すぎるなど、適正露出にならないときは、絞り値とシャッタースピードの数値が赤色になります。
●液晶モニターの明るさは、実際に撮影される写真と異なる場合があります。

お好みの設定を登録して撮る「カスタムモード」

撮影モード：CUST

お好みの撮影モードや撮影メニューの設定などを「カスタムセット」に登録しておくと、モードダイヤルを「CUST」に合わせることで、すぐにその設定に切り換えることができます。

「C カスタムセット登録」お好みの設定を登録する

現在のカメラの設定を3つまで登録できます。

■撮影モード：P A S M MS1 MS2 SCN

1 登録したい撮影モードにし、撮影メニューや動画メニュー、セットアップメニューなどを設定する

2 セットアップメニューから「カスタムセット登録」を選ぶ（P.37）

3 カーソルボタンで登録するカスタムセットを選び、［MENU/SET］を押す

●セルフタイマーは、カスタムセットに保存されません。
●次のセットアップメニューは、カスタムセットに保存されます。
- ガイドライン表示
- ズーム位置メモリー
- ヒストグラム表示
- オートレビュー

お好みの設定を登録して撮る「カスタムモード」（つづき）

撮影モード：CUST

「カスタムモード」お好みの設定に切り換えて撮る

「カスタムセット登録」に登録した設定は、モードダイヤルを「CUST」に合わせることで、すぐに呼び出すことができます。

1 モードダイヤルを[CUST]に合わせる

2 カーソルボタンでカスタムセットを選び、[MENU/SET]を押す

- ◀▶で登録内容を確認できます。

●カスタムモードで撮影メニューなどを変更しても、カスタムセットの内容は変更されません。登録内容を変更するときは、「カスタムセット登録」で再設定してください。

場面に合わせて撮る「シーンモード」

撮影モード：MS1 MS2 SCN

シーンモードを使うと、場面に合った最適な設定（露出や色調など）で撮影できます。

1 モードダイヤルを[SCN]に合わせる

2 カーソルボタンでシーンを選び、[MENU/SET]を押す

（シーンメニューが表示されないとき→P.32）

●場面に合わないシーンを選ぶと、画像の色合いが変わることがあります。
●次の撮影メニューはカメラが自動調整するため、設定できません。
「ISO感度」「測光モード」「暗部補正」「下限シャッター速度」「超解像」「カラーモード」

よく使うシーンをモードダイヤルに登録する「マイシーンモード」

モードダイヤルの MS1 MS2 には、よく使うシーンモードを登録しておくことができます。登録後は、モードダイヤルを合わせるだけで、登録したシーンモードで撮影できます。

1 モードダイヤルを[MS1]または[MS2]に合わせる

2 カーソルボタンでシーンを選び、[MENU/SET]を押す

（シーンメニューが表示されないとき→P.32）

■登録したシーンを変更したいとき
➡もう一度、登録操作を行う

●MS1 MS2 について
どちらも同じ機能です。よく使うシーンをそれぞれに登録できるので、すぐに切り換えられて便利です。
●セットアップメニューの「設定リセット」で「撮影設定」をリセットすると、登録したシーンモードが解除されます。

場面に合わせて撮る「シーンモード」（つづき）

撮影モード：MS1 MS2 SCN

シーンモードの選びかた(P.55)
シーンモードのフラッシュについて(P.44)

人物	昼間の屋外で、人物を引き立て、肌色を健康的に。 撮影のコツ ズームの位置はできるだけT側(望遠)にし、被写体までの距離を近くにするとより効果が出ます。
美肌	明るい昼間の屋外で、肌色をなめらかに。胸から上の撮影に効果的です。 撮影のコツ ズームの位置はできるだけT側(望遠)にし、被写体までの距離を近くにするとより効果が出ます。
変身	被写体をスリムまたはグラマラスに。 変身のレベルを選んでください。 お知らせ • 撮影時に肌をきれいに見せる処理をしています。 •「記録画素数」は、現在の「画像横縦比」の設定により、以下のように固定されます。 4:3 のとき：3M　3:2 1:1 のとき：2.5M　16:9 のとき：2M
自分撮り	自分で自分を撮る。 撮影のコツ • シャッターボタン半押し→ピントが合うとセルフタイマーランプ点灯(点滅：ピントが合っていない)→全押し • シャッタースピードが遅くなり、手ブレしやすいときは、2秒セルフタイマーの使用をおすすめします。

風景	広がりのある遠くの被写体をくっきりと。
パノラマアシスト	付属のソフトウェアを使い、複数枚の写真をつないで1枚のパノラマ写真に。 ① カーソルボタンで撮影方向を選び、[MENU/SET]を押す パノラマアシスト専用のガイドラインが表示されます。 ② 撮影する ③「次の撮影」を選び、[MENU/SET]を押す • シャッターボタンを半押ししても決定できます。 •「撮り直し」を選択すると、改めて撮影できます。 ④ 前回の撮影画像の一部が重なるように構図を変えて撮影する • 引き続き撮影する場合は「次の撮影」を選び、③④をくり返す。 前回撮影した画像の一部 ⑤ 撮影を終えたら「完了」を選び、[MENU/SET]を押す 撮影のコツ • 三脚を使う。 • 暗いときは、セルフタイマーを使って撮影する。 お知らせ • ピント、ズーム、露出補正、ホワイトバランス、シャッタースピード、ISO感度は、最初の1枚目の設定に固定されます。 • シャッタースピードは最大8秒になります。 • 撮影後に、シャッターが閉じたまま(最大約8秒)になることがありますが、信号処理のためで異常ではありません。 • パノラマ合成は本機ではできません。撮影した画像をCD-ROM(付属)のソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO」を使ってパソコンでパノラマ写真に仕上げてください。
スポーツ	スポーツなど、動きの速いシーンに。 撮影のコツ • 被写体から5 m以上離れる。 お知らせ • シャッタースピードは最大1秒になります。

場面に合わせて撮る「シーンモード」(つづき)

撮影モード：[MS1] [MS2] [SCN]

シーンモードの選びかた(P.55)
シーンモードのフラッシュについて(P.44)

シーン	説明
夜景＆人物	人物と夜景を、見た目に近い明るさで。 撮影のコツ • フラッシュを使う。 • 被写体はなるべく動かない。 • 三脚、セルフタイマーを使う。 お知らせ • シャッタースピードは最大8秒になります。 • 撮影後に、シャッターが閉じたまま(最大約8秒)になることがありますが、信号処理のためで異常ではありません。
夜景	夜景を鮮やかに。 撮影のコツ • 三脚、セルフタイマーを使う。 お知らせ • シャッタースピードは最大8秒になります。 • 撮影後に、シャッターが閉じたまま(最大約8秒)になることがありますが、信号処理のためで異常ではありません。
料理	周囲の光に影響されず、料理を自然な色で。
パーティー	室内の結婚式など、人物と背景を明るく。 撮影のコツ • 被写体から約1.5 m離れる。 • ズーム：広角(W側) • フラッシュを使う。 • 三脚、セルフタイマーを使う。
キャンドル	ろうそくの明かりの雰囲気を引き立てる。 撮影のコツ • フラッシュを使わない。 • 三脚、セルフタイマーを使う。 お知らせ • シャッタースピードは最大1秒になります。
赤ちゃん	赤ちゃんの肌を健康的に。また、フラッシュ発光時は弱めの光で発光。 • 赤ちゃんの誕生日と名前を設定する。 (「赤ちゃん1」「赤ちゃん2」に別々に設定できます) ① カーソルボタンで「月齢/年齢」または「名前」を選んで[MENU/SET]を押し、「設定」を選んで[MENU/SET]を押す。 ② 誕生日や名前を設定する。 誕生日：カーソルボタンで誕生日を入力し、[MENU/SET]を押す。 名前：(文字入力方法：P.68) ③ カーソルボタンで「終了」を選び、[MENU/SET]を押す。 撮影のコツ • 撮影前に、「月齢/年齢」と「名前」が「ON」になっていることを確認してください。 お知らせ • シャッタースピードは最大1秒になります。 • 「名前」や「月齢/年齢」は、CD-ROM(付属)のソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO」を使ってパソコンで印刷設定をしたり、本機の「文字焼き込み」で写真に焼き込むことができます。
ペット	月齢/年齢や名前を記録して撮る。 • 撮影のコツ、お知らせは上記「赤ちゃん」と同じです。
夕焼け	夕焼けなどの風景の赤色を鮮やかに。

場面に合わせて撮る「シーンモード」(つづき)

撮影モード：MS1 MS2 SCN

シーンモードの選びかた(P.55)
シーンモードのフラッシュについて(P.44)

シーン	内容
高感度	薄暗い室内で被写体のブレをおさえる。 カーソルボタンで記録画素数(画像横縦比)を選び、[MENU/SET]を押す
高速連写	速い動きや瞬間を撮る。 ① ▲▼で「速度優先」か「画質優先」かを選び、[MENU/SET]で決定する ② ▲▼で記録画素数(画像横縦比)を選び、[MENU/SET]で決定する ③ 撮影する(シャッターボタン長押し) シャッターボタンを押している間、写真を連続して撮影します。 最高速度※ 速度優先：約10コマ/秒 最高速度※ 画質優先：約 5コマ/秒 連写枚数※：約15～100枚(最大100枚) ※撮影条件やカードによって異なります。 お知らせ • ピント、ズーム、露出補正、ホワイトバランス、シャッタースピード、ISO感度は、最初の1枚目の設定に固定されます。
フラッシュ連写	暗いところで連写したいときに。 ① カーソルボタンで記録画素数(画像横縦比)を選び、[MENU/SET]を押す ② 撮影する(シャッターボタン長押し) シャッターボタンを押している間、写真を連続して撮影します。 連写枚数：最大5枚 お知らせ • セルフタイマー使用時は5枚撮影されます。 • ピント、ズーム、露出補正、シャッタースピード、ISO感度は、最初の1枚目の設定に固定されます。
星空	星空や暗い被写体を鮮明に。 • シャッタースピードの選択 ① カーソルボタンで選び、[MENU/SET]を押す ② シャッターボタンを押す 撮影のコツ • 必ず三脚を使う。 • セルフタイマーを使う。 • 画面のカウントダウンが終了するまでカメラを動かさない。(このあと、処理のためのカウントダウンが再度表示されます)
花火	夜空に上がる花火をきれいに。 撮影のコツ • 被写体から10 m以上離れる。 • 三脚を使う。 お知らせ • シャッタースピードは1/4秒または2秒に固定されます。 (露出補正するとシャッタースピードは変わります)
ビーチ	海や空の青色を鮮明に、人物を暗くしない。 お知らせ • ぬれた手で触らないでください。 • カメラに砂や海水がかからないように気をつけてください。
雪	スキー場や雪山で、雪景色を自然な色で。
空撮	飛行機からの窓越しの景色に。 お知らせ • **離着陸時は電源を切ってください。**
ピンホール	画面の周囲を暗くして、レトロな雰囲気に。
サンドブラスト	ざらざらとした感じの白黒画像に。
ハイダイナミック	逆光の風景や夜景などのシーンで、白飛び・黒つぶれを抑える。 カーソルボタンで効果を選び、[MENU/SET]を押す STD.：自然な色合いの効果 ART：コントラストと色を強調した印象的な効果 B&W：白黒の効果 お知らせ • シャッタースピードは最大8秒になります。 • 撮影後に、シャッターが閉じたまま(最大約8秒)になることがありますが、信号処理のためで、異常ではありません。

場面に合わせて撮る「シーンモード」（つづき）

撮影モード：MS1 MS2 SCN

フォトフレーム	フレームを一緒に焼き込む。 カーソルボタンでフレームを選び、[MENU/SET]を押す お知らせ • 記録画素数は2M(4:3)となります。 • ガイドライン表示はできません。
水中	水中で自然な色を。 撮影のコツ • 動きの速い被写体には、AFエリアを合わせて◀を押す(AFロック)。 （解除するとき→再度◀を押す） AFロック（ピント固定） AFエリア • AFロック後にズーム操作を行った場合は、AFロックは解除されますので、AFロックをやり直してください。 • オートフォーカスモードが（追尾AF)のときは、AFロックできません。 • 「ホワイトバランス微調整」(P.71)で色合いを調整する。 お知らせ • マリンケース(別売：DMW-MCTZ20)を必ず使用してください。

個人認証機能を使って撮る「個人認証」

撮影モード：iA P A S M MS1 MS2 SCN

お買い上げ時、「個人認証」は「OFF」に設定されています。
顔画像を登録すると自動的に「ON」になります。

■個人認証機能の働き

撮影時（オートフォーカスモード：（顔認識)の場合）
- 登録した顔を認識し、ピントと露出を合わせる
- 名前を設定して登録した顔を認識すると、名前を表示（3人まで）

再生時
- 名前や月齢/年齢を表示(情報を登録している場合)
- 撮影時に認識した顔に設定された名前を表示(3人まで)
- 選んだ登録人物の画像のみを再生「カテゴリー選択」

■顔画像登録時の撮影ポイント

- 目を開き、口を閉じた状態で正面を向き、髪の毛で顔の輪郭、目や眉が隠れないようにする。
- 顔に極端な陰影が出ないようにする。(登録時、フラッシュは発光しません)

■撮影時に認証されにくいと感じたら

- 同じ人物の顔を室内と屋外で、または表情やアングルを変えて追加で登録する。
- 撮影するその場で追加して登録する。
- 登録している人物を認証しなくなった場合は、登録し直す。

撮影

●連写撮影時は、1枚目のみ個人認証に関する撮影情報が付加されます。
●シャッターボタンを半押ししたあとで、違う被写体にカメラを向けて撮影をした場合、異なる人物の撮影情報が付加される場合があります。
●次のときは個人認証が働きません。
動画撮影、シーンモードの「変身」「パノラマアシスト」「夜景」「料理」「高速連写」「フラッシュ連写」「星空」「花火」「空撮」「サンドブラスト」「水中」
●個人認証は、登録した顔に近い顔を探しますので、確実な人物の認証を保証するものではありません。登録している人物でも表情や環境によっては個人認証ができない、または正しく認証されない場合があります。
●個人認証情報を登録していても、名前を「OFF」で撮影した画像は、「カテゴリー選択」の個人認証に分類されません。
●**個人認証情報を変更した場合でも、すでに撮影した画像の認証情報は変更されません。**
例えば、名前を変更すると、変更前に撮影した画像は「カテゴリー選択」の個人認証に分類されなくなります。
●撮影した画像の名前情報を変更するには「認証情報編集」の「入換え」(P.91)を行ってください。

個人認証機能を使って撮る 「個人認証」(つづき)

撮影モード：iA P A S M MS1 MS2 SCN

顔画像を登録する

最大6人までの顔画像を名前や誕生日などの情報とともに登録できます。
同じ人物の顔画像を複数枚登録するなど(一登録につき最大3枚)、顔登録のしかたを工夫することにより個人認証されやすくなります。

1 撮影メニューから「個人認証」を選ぶ(P.32)

2 カーソルボタンで「登録」を選び、[MENU/SET]を押す

3 カーソルボタンで「新規登録」を選び、[MENU/SET]を押す

- すでに6人登録されているときは、まず、登録されている人物を解除してください。(次ページ)

4 顔画像を撮影する

①ガイドに顔を合わせて撮影する
②カーソルボタンで「はい」を選び、[MENU/SET]を押す
- 撮り直す場合は「いいえ」を選ぶ

- 人物以外の被写体の顔(ペットなど)は、登録できません。
- [DISP.]ボタンを押すと、説明が表示されます。

5 ▲▼で編集項目を選び、[MENU/SET]を押す

名前	①カーソルボタンで「設定」を選び、[MENU/SET]を押す ②名前を入力する(文字入力方法：P.68)
月齢/年齢	誕生日を設定します。 ①カーソルボタンで「設定」を選び、[MENU/SET]を押す ②◀▶で年月日を選び、▲▼で設定し、[MENU/SET]を押す
フォーカスアイコン	ピントが合うときに表示されるアイコンを変更します。 ①カーソルボタンでフォーカスアイコンを選び、[MENU/SET]を押す
追加登録	顔画像は3枚まで登録できます。 ①未登録の枠を選び、[MENU/SET]を押す • カーソルボタンで登録済みの顔画像を選ぶと、解除の確認画面が表示されます。「はい」を選ぶと、顔画像が消去されます。(画像が1枚しか登録されていない場合は、解除できません。) ②撮影する(上記、手順 4) ③🗑 / ↩ ボタンを押す

■個人認証機能を「OFF」にするとき

①撮影メニューから「個人認証」を選ぶ
②カーソルボタンで「OFF」を選び、[MENU/SET]を押す

登録した人物の情報を編集／解除する

登録した人物の情報を修正したり、解除したりできます。

1 前ページの手順 3 で編集または解除する人物を選び、[MENU/SET]を押す

2 カーソルボタンで項目を選び、[MENU/SET]を押す

情報編集	名前など、登録した情報を修正します。(前ページ)
登録順	ピントや露出の優先順位を設定します。 ①カーソルボタンで登録順を選び、[MENU/SET]を押す
解除	登録した人物の情報や顔画像を消去します。

撮影

旅行先で便利な機能

セットアップメニューの設定方法は、32ページへ

「 トラベル日付」旅行日を記録する

旅行の日程を設定して撮影すると、旅行何日目に撮影したかが記録されます。

■撮影モード：iA※ P A S M MS1 MS2 SCN
※記録のみ（設定不可）

1 セットアップメニューから「トラベル日付」を選ぶ

2 カーソルボタンで「トラベル日付設定」を選び、[MENU/SET]を押す

3 カーソルボタンで「設定」を選び、[MENU/SET]を押す

4 カーソルボタンで出発日を選択し、[MENU/SET]を押す

5 カーソルボタンで帰着日を選択し、[MENU/SET]を押す

■「旅行先」を記録する場合

「トラベル日付設定」が設定されているときは、旅行先を設定できます。

①上記の手順 2 で「旅行先」を選ぶ
②カーソルボタンで「設定」を選び、[MENU/SET]を押す
③旅行先を入力する（文字入力方法：P.68）

- ●トラベル日付は、設定された出発日と本機の時計設定の日付により計算されます。「ワールドタイム」で旅行先を設定したときは、旅行先の日付をもとに経過日数を表示します。
- ●「トラベル日付設定」を「OFF」に設定すると、経過日数は記録されません。撮影後に「トラベル日付設定」を「設定」にしても表示されません。
- ●出発日より前は、経過日数は記録されません。
- ●経過日数や旅行先をプリントするときは、「文字焼き込み」を行うか、CD-ROM（付属）のソフトフェア「PHOTOfunSTUDIO」を使ってプリントしてください。

「 ワールドタイム」旅行先の日時を設定する

撮影日時を旅行先の現地時間に合わせます。

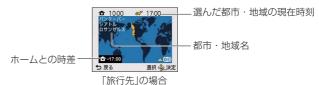
■撮影モード：iA P A S M MS1 MS2 SCN

1 セットアップメニューから「ワールドタイム」を選ぶ

- お買い上げ時は、メッセージが表示されます。その場合は、[MENU/SET]を押して手順 3 へ。

2 カーソルボタンで「ホーム」または「旅行先」を選び、[MENU/SET]を押す

3 カーソルボタンで地域を選択し、[MENU/SET]を押す

「旅行先」の場合

■サマータイムを設定する場合

手順 3 で▲を押す（再度、押すと解除）

- サマータイムを設定すると、現在時刻が1時間進みます。設定を解除すると、自動的に戻ります。

- ●画面に表示されるエリアで旅行先が見つからない場合は、ホームエリアからの時差を参考に設定してください。
- ●旅行先で撮影された画像には、再生時、画面に が表示されます。

撮影

文字を入力する

個人認証機能やシーンモードの「赤ちゃん」「ペット」の名前、「トラベル日付」の旅行先などを登録するときは、カーソルボタンを使って文字を入力します。

1 カーソルボタンで文字を選ぶ

2 希望の文字が表示されるまで[MENU/SET]を押す

カーソル位置

カーソル位置に文字が入力されます。
- 文字の種類を切り換えるとき
→「切換」を選び、[MENU/SET]を押す

■文字を修正するとき
①カーソルボタンで修正する文字にカーソルを移動する
- ズームレバーでもカーソル位置を移動できます。

②カーソルボタンで「消去」を選び、[MENU/SET]を押す
③カーソルボタンで正しい文字を選び、[MENU/SET]を押す

3 入力が終わったら、カーソルボタンで「決定」を選び、[MENU/SET]で終了する

●入力できる文字数（ \ 、「、」、・、－は2文字として扱います）
かな カナ：最大15文字（「個人認証」の名前は最大6文字）
上記以外：最大30文字（「個人認証」の名前は最大9文字）
●漢字は入力できません。

撮影メニューを使う

撮影メニューの設定方法は、32ページをお読みください。

「画像横縦比」写真の横縦比を変える

■撮影モード：P A S M MS1 MS2 SCN
■設定：4:3／3:2／16:9／1:1
●プリント時に端が切れる場合があるので、事前に確認してください。

「記録画素数」写真の画素数を設定する

画像（粒子）のきめ細かさを設定します。この設定と「クオリティ」の設定で撮影できる枚数が決まります。

■撮影モード：iA P A S M MS1 MS2 SCN
■設定

記録画素数の種類（画像横縦比：4:3）					
14 M 4320×3240	10 M EZ※1 3648×2736	7 M EZ※1 3072×2304	5 M EZ 2560×1920	3 M EZ※1 2048×1536	0.3 M EZ 640×480

記録画素数の種類（画像横縦比：3:2）					
12.5 M 4320×2880	9 M EZ※1 3648×2432	6 M EZ※1 3072×2048	4.5 M EZ※1 2560×1712	2.5 M EZ※1 2048×1360	0.3 M EZ※1 640×424

記録画素数の種類（画像横縦比：16:9）					
10.5 M 4320×2432	7.5 M EZ※1 3648×2056	5.5 M EZ※1 3072×1728	3.5 M EZ※1 2560×1440	2 M EZ※1 1920×1080	0.2 M EZ※1 640×360

記録画素数の種類（画像横縦比：1:1）					
10.5 M 3232×3232	7.5 M EZ※1 2736×2736	5.5 M EZ※1 2304×2304	3.5 M EZ※1 1920×1920	2.5 M EZ※1 1536×1536	0.2 M EZ※1 480×480

※1 iA（インテリジェントオートモード）時は設定できません。

●被写体や撮影状況によっては、画像がモザイク状になることがあります。

設定の目安

画素数が大きい	⟷	画素数が小さい※2
きめ細かい		粗い
撮影枚数が少ない		撮影枚数が多い

※2 例えば、「0.3 M EZ」は、データ容量が小さいので、Eメールでの送付などに便利です。

撮影

「 クオリティ」画質を設定する

■撮影モード：P A S M MS1 MS2 SCN

■設定： (ファイン)：高画質、画質優先
(スタンダード)：標準画質、枚数優先

●シーンモードの「変身」「高感度」「高速連写」「フラッシュ連写」では、 に固定されます。

「ISO ISO感度」光に対する感度を設定する

ISO感度(光に対する感度)を自分で設定します。
暗い場所で明るく撮りたいときは、高く設定することをおすすめします。

■撮影モード：P A S M

■設定：AUTO／iISO(インテリジェントISO)／100／200／400／800／1600

設定の目安

ISO感度	100 ←→	1600
適した撮影場所	明るい(屋外)	暗い
シャッタースピード	遅くなる	速くなる
ノイズ	減る	増える
被写体ブレ	多い	少ない

●「AUTO」は、被写体の明るさに応じて、最大400まで(フラッシュ使用時は最大1000まで)の範囲で自動設定します。
●「iISO(インテリジェントISO)」は、被写体の動きと明るさに応じて、最大1600までの範囲で自動設定します。

「WB ホワイトバランス」色合いを設定する

色合いが不自然なときに光源に合わせて自然な色に調整します。

■撮影モード：P A S M MS1 MS2 SCN

■設定： AWB(自動調整、通常推奨)／☼(晴天の屋外)／(曇りの屋外)／
(屋外晴天下の日陰)／(白熱灯)／(SET で設定した値を使用)／
SET(手動設定)

●AWB(オートホワイトバランス)に設定すると、光源に合わせて色合いを調整します。ただし、明暗の極端な状況では、画像が赤っぽくなったり、青っぽくなったりします。また、光源が複数の場合は、正常に働かない場合があります。
●蛍光灯のときは「AWB」または「SET」に設定することをおすすめします。
●以下のシーンモードでは、「AWB」に固定されます。
「風景」「夜景&人物」「夜景」「料理」「パーティー」「キャンドル」「夕焼け」「フラッシュ連写」「星空」「花火」「ビーチ」「雪」「空撮」「サンドブラスト」「水中」
●シーンモードを切り換えると、「AWB」に戻ります。

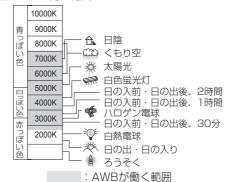
■「☼」「」「」「」「」を微調整するとき

ホワイトバランスを設定しても思い通りの色合いにならないとき、ホワイトバランスを個々に微調整することができます。(ホワイトバランス微調整)
①微調整するホワイトバランスを選び、[DISP.]を押して「WB微調整」画面を表示する
②赤みが強いときは▶で、青みが強いときは◀で調整する。
③[MENU/SET]を押す。
• 電源を切っても記憶されます。
• フラッシュ撮影にも反映されます。
• シーンモードの「水中」では、「AWB」に固定されますが、微調整できます。
• 「カラーモード」(P.76)が「白黒」「セピア」「クール」「ウォーム」のときはできません。

■手動で設定するとき(SET)

撮りたい光源の下で白いものを写して色を合わせます。
①SET を選び、[MENU/SET]を押す。
②紙など白いものを写し、[MENU/SET]を押す。
ホワイトバランスが に設定されます。
• 電源をOFFにしても、設定したホワイトバランスは記憶されます。
• 被写体が明るすぎたり、暗すぎると、正しくホワイトバランスが設定できない場合があります。そのときは、適切な明るさに調整して、設定し直してください。

■AWBが働く範囲について

撮影

「AF オートフォーカスモード」ピントを合わせる方法を変える

被写体の位置や数に応じて、ピントの合わせかたを変えられます。

■撮影モード：P A S M MS1 MS2 SCN

■設定：(顔認識)／(追尾AF)／(23点)／(1点)／(スポット)

人物を正面から撮るとき (顔認識)	顔を認識して(最大15人)顔に露出やピントが合います。 AFエリア 黄色：シャッターボタンを半押しし、ピントが合うと緑色に変わる。 白色：複数の顔を認識すると表示。黄色のAFエリア枠内と同じ距離にある顔にはピントが合います。
動いている被写体を自動でフォーカスロックするとき (追尾AF)	被写体を追尾AF枠に合わせ、▼を押す 追尾AF枠 被写体を認識すると、追尾AF枠が白色から黄色に変わり、自動的にピントを合わせ続ける。 AFロックに失敗したときは、赤色に変わる。 • 追尾AFを解除するとき→▼を押す • ピントが合う範囲(マクロ撮影と同じ)（P.46）
被写体が中央にないとき （ピントがすべて合ってから、AFエリアを表示します） (23点)	AFエリアごとに最大23点までピントを合わせます。
ピントを合わせる位置が決まっているとき (1点) (スポット)	1点：画面中央のAFエリアにピントが合います。（ピントが合いにくいときにおすすめ） スポット：限られた狭い範囲内にピントが合います。

●次のときは、(1点)に固定されます。
シーンモードの「星空」「花火」

●(スポット)でピントが合いにくいときは、(1点)にしてください。

●次のときは(顔認識)に設定できません。
シーンモードの「パノラマアシスト」「夜景」「料理」「星空」「花火」「空撮」「水中」

●(顔認識)設定時に、カメラが誤って人物以外を顔と認識したときは、(顔認識)以外の設定に変えてください。

●被写体の動きが速いときなど、状況によって顔を認識できない場合は、(23点)に切り換わります。

●被写体が小さいときや暗いときなど、撮影状況によっては、追尾AFが正しく動作しない場合があります。

●追尾AFが働かないときは、(1点)となります。

●次のときは(追尾AF)に設定できません。
• シーンモードの「パノラマアシスト」「星空」「花火」「ピンホール」「サンドブラスト」「ハイダイナミック」
• カラーモードの「白黒」「セピア」「クール」「ウォーム」

「Q-AF クイックAF」動きに合わせてピントを合わせる

シャッターボタンを押していない間も、カメラのブレが小さくなると自動的にピントを合わせます。（バッテリーの消費は早くなります）

■撮影モード：P A S M MS1 MS2 SCN

■設定：ON／OFF

●ズームレバーをW端から一気にT端に回したり、急に被写体に近づくと、ピントが合うのに時間がかかることがあります。

●ピントが合いにくいときは、シャッターボタンを半押ししてください。

●次のときは「OFF」になります。
シーンモードの「夜景＆人物」「夜景」「星空」「花火」

●追尾AF動作中は働きません。

撮影メニューの設定方法は、32ページへ

「個人認証」よく撮る人を登録する

詳しくは、64ページをお読みください。

「測光モード」明るさを測る位置を変える

露出を補正するときにどの位置の明るさを測るかを変えられます。

■撮影モード：P A S M

■設定

	明るさの測定位置	こんなとき
マルチ測光	画面全体	通常使用 （バランスがとれた写真になります）
中央重点	画面中央とその周囲	被写体が画面中央にあるとき
スポット	中央の狭い範囲	被写体と背景の明るさが極端に異なるとき（舞台上のスポットライトが当たった人物を撮るとき、逆光時など）

「暗部補正」コントラストを自動調整する

背景と被写体の明暗差が大きい場合に、コントラストや露出を自動調整して見た目に近い色にします。

■撮影モード：P A S M

■設定：弱／中／強／OFF

- 「弱」、「中」、「強」は効果の最大範囲を表します。
- 暗部補正が働くと、の色が変わります。
- 「ISO感度」を「100」に設定していても、暗部補正が働いたときは、ISO感度の設定より高い感度で撮影されることがあります。

「下限シャッター速度」暗い場所で明るく

シャッター速度の最低速度を設定します。暗い場所で明るく撮りたいときは、遅めに設定することをおすすめします。

■撮影モード：P

■設定：AUTO、1/250、1/125、1/60、1/30、1/15、1/8、1/4、1/2、1

- シャッタースピードが遅いほど暗い場所でも明るく撮れますが、手ブレしやすくなるため三脚とセルフタイマーの使用をおすすめします。
- 「1/250」など速い値に設定時は、写真が暗く写りやすいため、明るい場所で撮影することをおすすめします。（写真が暗くなる場合はシャッターボタン半押し時に MIN が赤く点滅します）
- 「AUTO」以外を選択すると、画面に MIN を表示します。

「超解像」くっきりした画質にする

超解像技術を使って、より輪郭のはっきりした、解像感がある写真を撮影できます。また、「iA ZOOM」を設定すると、ほとんど画質を劣化させずにズーム倍率を約1.3倍上げることができます。

■撮影モード：P A S M

■設定：ON／iA ZOOM／OFF

- iAズームについては、43ページをお読みください。
- インテリジェントオートモード時は「iA ZOOM」に固定されます。
- シーンモードの「高感度」「高速連写」は「ON」、「フラッシュ連写」「ピンホール」では「OFF」、それ以外のシーンモードで「iA ZOOM」に固定されます。

「デジタルズーム」さらに拡大する

光学ズーム、またはEX光学ズームの最大4倍に拡大します。

■撮影モード：P A S M MS1 MS2 SCN

■設定：ON／OFF

- ズームマクロ設定時は「ON」に固定されます。

撮影

撮影メニューの設定方法は、32ページへ

「連写」連写で撮る

シャッターボタンを全押ししている間、連続して写真を撮ることができます。

■撮影モード：iA P A S M MS1 MS2 SCN

■設定

連写設定	速度	枚数※
（連写）	1.9枚/秒	（ファイン）：最大3枚／（スタンダード）：最大5枚
OFF	連写を解除します。	

※セルフタイマー使用時は3枚に固定されます。

●ピント、露出、ホワイトバランスは1枚目の設定に固定されます。
●暗い場所でシャッタースピードが遅くなる場合は、連写速度が遅くなることがあります。
●「オートブラケット」は解除されます。
●フラッシュは（発光禁止）となります。
●電源を切っても、設定は記憶されます。
●シーンモードの「パノラマアシスト」「高速連写」「フラッシュ連写」「星空」「花火」「ピンホール」「フォトフレーム」では連写は設定できません。
●シーンモードの「高速連写」を使うと、より速い連写で撮ることができます。また、「フラッシュ連写」を使うと、暗い場所でもフラッシュを使って連続撮影できます。（P.60）

「カラーモード」色の効果をつける

■撮影モード：iA P A S M

■設定：標準／ナチュラル（柔らかく）／ヴィヴィッド（くっきり）／白黒／セピア／クール（青っぽく）／ウォーム（赤っぽく）／Happy（インテリジェントオートモードのみ）

●暗い場所でノイズが目立つときは「ナチュラル」に設定してください。
●インテリジェントオートモードでは「標準」「Happy」「白黒」「セピア」のみ設定できます。（他のモードとは別に設定されます）

「AF✳ AF補助光」暗いところでピントを合わせやすくする

■撮影モード：P A S M MS1 MS2 SCN

■設定：
ON：シャッターボタン半押しでランプが点灯（AF✳と、大きなAFエリアが表示される）
OFF：ランプ消灯（暗やみで動物などを撮るときなど）

●次のときは「OFF」に固定されます。
シーンモードの「自分撮り」「風景」「夜景」「夕焼け」「花火」「空撮」「水中」

AF補助光ランプ（有効距離：1.5 m）
（近くで見たり、指でふさがない）

「デジタル赤目補正」フラッシュの赤目現象を補正する

フラッシュの赤目軽減（ ）で撮影したときに、赤目を自動的に検出して、写真を補正します。

■撮影モード：P A S M MS1 MS2 SCN

■設定：ON／OFF

●オートフォーカスモードが（顔認識）以外のときは、働きません。
●赤目の状態によっては、補正できない場合があります。
●「ON」に設定すると、フラッシュのアイコンに が付きます。

「手ブレ補正」手ブレをおさえる

手ブレを自動で感知して補正します。

■撮影モード：P A S M MS1 MS2 SCN

■設定：ON／OFF

●シーンモード「自分撮り」および動画撮影中では「ON」に固定されます。
●シーンモード「星空」では「OFF」に固定されます。
●次のときは補正が効きにくい場合があります。
手ブレが大きいとき、ズーム倍率が高いとき（デジタルズーム領域を含む）、被写体の動きが速いとき、室内や薄暗い場所で撮る（シャッタースピードが遅い）とき

「日付焼き込み」撮影日時を写真に焼き込む

撮影時に日付や日時を写真へ焼き込んで撮影できます。

■撮影モード：P A S M MS1 MS2 SCN

■設定：日付／日時／OFF

●写真に焼き込まれた撮影日時は消せません。
●「オートブラケット」「連写」設定時、動画、およびシーンモードの「パノラマアシスト」「高速連写」「フラッシュ連写」時は焼き込めません。
●日付焼き込みした写真は、お店やプリンターで日付プリント指定しないでください。（重なってプリントされることがあります）

「時計設定」時計を合わせる

時計を設定します。セットアップメニューの「時計設定」と同じ機能です。

撮影

動画メニューを使う

撮影モード：

動画メニューの設定方法は、32ページへ

「画質設定」動画の画質を変更する

記録する動画の画質を設定します。

■設定

設定	画像サイズ	1秒あたりのコマ数	横縦比
HD	1280×720	30 fps	16:9
VGA	640×480		4:3
QVGA	320×240		

●内蔵メモリーに記録できるのは「QVGA」のみです。

「WB ホワイトバランス」色合いを設定する

詳しくは、70ページをお読みください。

「暗部補正」コントラストを自動調整する

詳しくは、74ページをお読みください。

「カラーモード」色の効果をつける

詳しくは、76ページをお読みください。

「C-AF AF連続動作」ピントを固定する

動画撮影中もピントを合わせ続けるか、あるいは動画撮影開始時のピント位置で固定するかを設定できます。

■設定：ON／OFF（動画撮影開始時のピント位置で固定します。）

「風音低減」風の音を録音しにくくする

風が強いときに録音される風の音（風音ノイズ）を記録しにくくします。

■設定：ON／OFF

●「風音低減」を「ON」に設定しているときは、低音がカットされるため、通常と音質が異なります。

いろいろな再生方法「再生モード」

再生モード：

撮影した画像をいろいろな方法で再生することができます。

1 [MENU/SET]を押す

2 カーソルボタンで「再生モード」を選び、[MENU/SET]を押す

3 カーソルボタンで再生方法を選び、[MENU/SET]を押す

●カードが入っていないときは、内蔵メモリーの画像を再生します。
●撮影/再生切換スイッチを ▶ にして電源を入れたときや、撮影モードから再生モードに切り換えたときは、再生モードは自動的に「通常再生」になります。

「スライドショー」自動で順番に見る

音楽に合わせて写真や動画を順に自動再生します。テレビで見るときにおすすめです。

1 カーソルボタンで再生方法を選び、[MENU/SET]を押す

全画像	すべての画像を再生。
写真のみ	写真のみ再生。
動画のみ	動画のみ再生。
トラベル	「トラベル日付設定」または「旅行先」を設定して撮影した画像のみ再生。
カテゴリー選択	カテゴリーを選択して、写真のみ再生。（カーソルボタンでカテゴリーを選び、[MENU/SET]を押してください）（P.81）
お気に入り	「お気に入り」に設定した画像のみ再生。

（次ページにつづく）

2 カーソルボタンで再生効果を設定し、[MENU/SET]を押す

効果（画像の雰囲気にあった音楽と効果を選ぶ）	
おまかせ（「カテゴリー選択」設定時のみ）／ナチュラル／スロー／スウィング／アーバン／OFF※	
設定	
再生間隔※	1秒／2秒／3秒／5秒（効果「OFF」設定時のみ設定可能）
リピート	ON／OFF
音設定	OFF：音楽も音声も再生しません。 AUTO：写真のときは音楽を、動画のときは音声を再生します。 音楽：効果の音楽を再生します。 音声：動画の音声を再生します。

※ 1 で「動画のみ」を選択したときは、効果は「OFF」に固定されます。また、再生間隔は設定できません。

3 カーソルボタンで「開始」を選び、[MENU/SET]を押す

■スライドショー中の操作

●「アーバン」は、画面効果として画像が白黒になることがあります。
●縦向きに撮影した画像を表示するときは、一部の「効果」が動作しません。
●音楽効果を追加することはできません。

「絞り込み再生」再生する画像を絞り込む

選択したカテゴリーの画像やお気に入りの画像を絞り込んで見ることができます。

1 カーソルボタンで絞り込む方法を選び、[MENU/SET]を押す

写真のみ	写真のみ再生します。
動画のみ	動画のみ再生します。
トラベル	「トラベル日付」を設定中に撮影した画像を再生します。 ① カーソルボタンで日付で再生するか、旅行先で再生するかを選び、[MENU/SET]を押す • 「全画像」を選ぶと、「トラベル日付」設定中に撮影した画像を再生します。 ② カーソルボタンで日付や旅行先を選び、[MENU/SET]を押す
カテゴリー選択	シーンモードなどのカテゴリー別に画像を絞り込んで再生します。 ① カーソルボタンでカテゴリーを選び、[MENU/SET]を押す [アイコン] 個人認証で撮影した画像 [アイコン] 人物、i人物、美肌、変身、自分撮り、夜景&人物、i夜景&人物、赤ちゃん、i赤ちゃん [アイコン] 風景、i風景、夕焼け、i夕焼け、空撮 [アイコン] 夜景&人物、i夜景&人物、夜景、i夜景、星空 [アイコン] スポーツ、パーティー、キャンドル、花火、ビーチ、雪、空撮 [アイコン] 赤ちゃん、i赤ちゃん [アイコン] ペット [アイコン] 料理 [アイコン] 水中
お気に入り	「お気に入り」に設定した画像を再生します。

「カレンダー検索」撮影日別に見る

カレンダー画面で撮影日を選んで、その日に撮った画像だけを見ることができます。（P.29）

再生メニューを使う

再生モード：▶

再生メニューの表示・操作方法については、32ページへ

画像共有サイトへアップロードする画像を設定したり、撮影した画像を切り抜くなどの編集やプロテクト設定などができます。

- 再生メニューの表示・操作方法については、32ページへ
- 再生モードにより、表示されない再生メニューがあります。
- 「文字焼き込み」や「リサイズ（縮小）」などは、編集した画像を新しく作成します。内蔵メモリーまたはカードの空き容量を確認してから編集してください。

「WEBアップロード設定」Webで共有する画像を選ぶ

画像共有サイト（PicMate/Facebook/YouTube）へアップロードする画像を、本機で設定しておくことができます。

- LUMIX CLUB PicMate/Facebookへは写真のみ、YouTubeへは動画のみをアップロードすることができます。
- 内蔵メモリーの画像には設定できません。カードにコピー（P.92）してから「WEBアップロード設定」をしてください。

1 カーソルボタンで「1枚設定」または「複数設定」を選び、[MENU/SET]を押す

2 画像を選び、設定する

●1枚のとき
カーソルボタンで画像を選び、[MENU/SET]を押す

WEBアップロード設定

●複数のとき
カーソルボタンで画像を選び、[DISP.]ボタンを押す

WEBアップロード設定

- 解除するとき→再度[DISP.]ボタンを押す
- 実行するとき→[MENU/SET]を押す

■画像共有サイトへアップロードする

「WEBアップロード設定」をすると、本機に内蔵のアップロードツールがカードへ自動的にコピーされます。
パソコンに接続したあと（P.94）、アップロードの操作を行います。詳しくは、96ページをお読みください。

■全解除するとき ➡ 手順 1 で、「全解除」を選ぶ→「はい」を選び、決定する

●他機で撮影した画像には設定できない場合があります。
●512 MB未満のカードでは設定できません。

「タイトル入力」画像に文字を入れる

お好みの写真にタイトルなどをつけることができます。

1 カーソルボタンで「1枚設定」または「複数設定」を選び、[MENU/SET]を押す

2 写真を選ぶ

●1枚のとき
カーソルボタンで写真を選び、[MENU/SET]を押す

●複数に同じタイトルをつけるとき（50枚まで）
カーソルボタンで写真を選び、[DISP.]ボタンを押す

タイトル入力設定
タイトル入力済み

- 解除するとき→再度[DISP.]ボタンを押す
- 実行するとき→[MENU/SET]を押す

3 文字を入力する（文字入力方法：P.68）

- タイトルを消去するには文字入力画面ですべての文字を消去してください。

●他機で撮影された写真、動画には設定できません。
●設定した文字を印刷するには、「文字焼き込み」するか、CD-ROM（付属）のソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO」を使って印刷してください。

「文字焼き込み」文字や日付などを焼き込む

撮影日時、シーンモードの「赤ちゃん」「ペット」、「トラベル日付」、「タイトル入力」で登録した文字を写真に焼き込みます。

1 カーソルボタンで「1枚設定」か「複数設定」を選び、[MENU/SET]を押す

2 カーソルボタンで写真を選び、[MENU/SET]を押す

●1枚のとき

●複数のとき（50枚まで）

文字焼き込み設定
- 解除するとき→再度[DISP.]ボタンを押す
- 実行するとき→[MENU/SET]を押す

3 カーソルボタンで「設定」を選び、[MENU/SET]を押す

4 カーソルボタンで項目を選び、[MENU/SET]を押す

5 カーソルボタンで設定を選び、[MENU/SET]を押す

6 🗑 / ↩ ボタンを押す

7 カーソルボタンで「実行」を選び、[MENU/SET]を押す

8 カーソルボタンで月齢/年齢を焼き込むかどうかを選び、[MENU/SET]を押す

- 手順 5 で「名前」が「OFF」の場合、この手順は表示されません。

■焼き込める項目

項目	内容
撮影日時	「日付」：撮影日を焼き込む 「日時」：撮影日時を焼き込む
名前	個人認証に登録された名前を焼き込む ：「赤ちゃん」「ペット」で登録された名前を焼き込む
旅行先	セットアップメニューの「トラベル日付」で登録された旅行先を焼き込む
トラベル日付	セットアップメニューの「トラベル日付」で設定された旅行日を焼き込む
タイトル	「タイトル入力」で登録した文字を焼き込む

- 「OFF」の項目は焼き込みません。

●他機で撮影したもの、時計を設定せずに撮影したもの、動画、すでに文字を焼き込んだ写真には設定できません。
●プリンターによっては文字が切れることがあります。
●0.3M以下の画像に文字焼き込みする場合、文字は読みづらくなります。
●文字焼き込み済みの写真は、お店やプリンターで日付プリント指定しないでください。（重なってプリントされることがあります）

再生メニューを使う（つづき）

再生モード：▶

再生メニューの表示・操作方法については、32ページへ

「リサイズ(縮小)」画像サイズ(画素数)を小さくする

ホームページ用やメール添付などで送信しやすいように、写真の容量(記録画素数)を小さくします。(一番小さい記録画素数で撮影した写真は、それ以上小さくできません)

■1枚設定

1 カーソルボタンで「1枚設定」を選び、[MENU/SET]を押す

2 カーソルボタンで写真を選び、[MENU/SET]を押す

3 カーソルボタンでサイズを選び、[MENU/SET]を押す

• 確認画面が表示されます。「はい」を選ぶと実行されます。

■複数設定

1 上記の手順 1 で「複数設定」を選び、[MENU/SET]を押す

2 カーソルボタンでサイズを選び、[MENU/SET]を押す

3 カーソルボタンで写真を選び、[DISP.]ボタンを押す(50枚まで)

• 解除するとき→再度[DISP.]ボタンを押す
• 実行するとき→[MENU/SET]を押す

• 確認画面が表示されます。「はい」を選ぶと実行されます。

●リサイズすると画質が粗くなります。
●動画、日付／文字焼き込み済みの写真はできません。また、他機で撮影した写真はできない場合があります。

「トリミング(切抜き)」画像を切り抜く

写真を拡大して、必要な部分を切り抜きます。

1 カーソルボタンで写真を選び、[MENU/SET]を押す

2 写真を切り抜く部分を表示して、[MENU/SET]を押す

拡大する　移動する

• 確認画面が表示されます。「はい」を選ぶと実行されます。

●トリミングすると画質が粗くなります。
●動画、日付／文字焼き込み済みの写真はできません。また、他機で撮影した写真には、できない場合があります。
●トリミングした写真には、元の写真の個人認証に関する情報はコピーされません。

再生メニューの表示・操作方法については、32ページへ

「★ お気に入り」お気に入り画像を設定する

気に入った画像に★印をつけておくと、お気に入り画像だけを再生したり、お気に入り画像以外を全消去したりすることができます。

1 カーソルボタンで「1枚設定」または「複数設定」を選び、[MENU/SET]を押す

2 カーソルボタンで画像を選び、[MENU/SET]を押す

●1枚のとき

お気に入り設定

●複数のとき

お気に入り設定

- 解除するとき→再度[MENU/SET]を押す

■**全解除するとき** ➡ 手順 1 で「全解除」を選ぶ→「はい」を選び、決定する

●他機で撮影した画像には設定できない場合があります。

「🖶 プリント設定」プリント設定する

DPOFプリント対応のお店やプリンターでプリントするときに、画像・枚数・日付プリントの有無を指定できます。（対応しているかどうかはお店に確認してください）

1 カーソルボタンで「1枚設定」または「複数設定」を選び、[MENU/SET]を押す

2 カーソルボタンで画像を選び、[MENU/SET]を押す

3 カーソルボタンで枚数を設定し、[MENU/SET]を押す

（「複数設定」時は 2 と 3 をくり返す（999枚まで））

●1枚のとき

日付プリント表示

枚数

●複数のとき

日付プリント表示

枚数

- 日付プリントを設定／解除するとき→[DISP.]ボタンを押す

■**全解除するとき** ➡ 手順 1 で、「全解除」を選ぶ→「はい」を選び、決定する

●プリンターによっては、プリンター側の設定が優先される場合があります。
●DCF規格に準拠していないファイルには設定できません。
●他機で設定されたDPOF情報（プリント設定）は利用することができない場合があります。その場合、DPOF情報をすべて解除してから本機で再度設定してください。
●「日付焼き込み」を設定して撮影した写真や「文字焼き込み」済みの画像には、日付プリントを設定できません。
●動画には設定できません。

再生メニューの表示・操作方法については、32ページへ

「プロテクト」画像を保護する

誤消去を防止します。設定すると、消去できなくなります。

1 カーソルボタンで「1枚設定」または「複数設定」を選び、[MENU/SET]を押す

2 カーソルボタンで画像を選び、[MENU/SET]を押す

●1枚のとき

プロテクト設定

●複数のとき

プロテクト設定

- 解除するとき→再度[MENU/SET]を押す

■全解除するとき ➡ 手順 1 で「全解除」を選ぶ→「はい」を選び、決定する
■全解除中に中止するとき ➡ [MENU/SET]を押す

●本機以外では無効になることがあります。

「認証情報編集」個人認証情報を編集する

間違って個人認証された画像の認証情報を修正したり、解除します。

1 カーソルボタンで「入換え」または「解除」を選び、[MENU/SET]を押す

2 カーソルボタンで画像を選び、[MENU/SET]を押す

3 カーソルボタンで人物を選び、[MENU/SET]を押す

- 「解除」の場合は手順 5 へ
- 個人認証情報が登録されていない人物は選択できません。

4 カーソルボタンで入れ換えたい人物を選び、[MENU/SET]を押す

5 カーソルボタンで「はい」を選び、[MENU/SET]を押す

●解除した個人認証に関する情報は元に戻せません。
●個人認証情報をすべて解除した画像は、「カテゴリー選択」の個人認証に分類されません。
●プロテクトされた画像は認証情報編集できません。

再生メニューを使う（つづき）

再生モード：▶

「画像コピー」内蔵メモリーの画像をコピーする

内蔵メモリーとカード間のコピーができます。

1 カーソルボタンでコピーのしかた（方向）を選び、［MENU/SET］を押す

IN→SD：内蔵メモリーからカードへ、全画像をコピー。（手順 3 へ）
SD→IN：カードから内蔵メモリーへ、1枚コピー。

2 カーソルボタンで画像を選び、［MENU/SET］を押す

3 カーソルボタンで「はい」を選び、［MENU/SET］を押す

- 中止するとき→［MENU/SET］を押す
- 内蔵メモリーからカードへ全画像をコピーした場合は、自動的に再生画面に戻ります。

●コピーには時間がかかることがあります。コピー中は、電源を切ったり他の操作をしないでください。
●コピー先に同じ名前（フォルダー番号/ファイル番号）がある場合、「IN→SD」（内蔵メモリーからカード）時は新しいフォルダーを作成してコピーします。「SD→IN」（カードから内蔵メモリー）時はその画像はコピーされません。
●次の設定はコピーされません。コピー後に設定し直してください。
- プリント設定　• プロテクト設定　• お気に入り設定

●当社製デジタルカメラ（LUMIX）の画像のみコピーできます。

テレビで見る

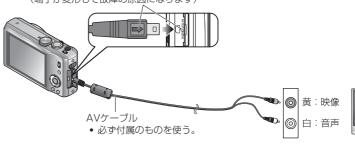
本機とテレビをAVケーブル（付属）で接続すると、写真や動画をテレビで見ることができます。
●テレビの説明書もお読みください。

準備： • 「TV画面タイプ」（P.40）を設定する。
　• 本機とテレビの電源を切る。

1 本機とテレビを接続する

2 テレビの電源を入れ、「外部入力」にする

3 本機の電源を入れる

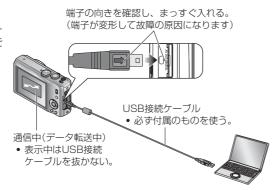
4 撮影/再生切換スイッチを ▶（再生）にする

■テレビやブルーレイディスクレコーダー／DVDレコーダーにSDカードスロットがあるとき

➡ SDカードスロットにSDメモリーカードを入れてください
- 写真を再生できます。
- 動画を再生するときは、AVケーブル（付属）を使用し、本機をテレビに接続してください。
- SDHCメモリーカードおよびSDXCメモリーカードをお使いの場合は、それぞれ対応の機器で再生してください。

●縦に回転した画像は、多少ぼやけることがあります。
●ワイドテレビやハイビジョンテレビで横縦比が正しく表示されないときは、テレビ側で画面モードの設定を変えてください。

パソコンに接続する

写真、動画を取り込む

準備：
- バッテリーを十分に充電しておく。または、ACアダプター(別売)とDCカプラー(別売)を接続しておく。
- 内蔵メモリーのとき：カードを抜いておく。

1 本機とパソコンを接続する
- 付属のUSB接続ケーブル以外は使わないでください。故障の原因になります。

2 本機のカーソルボタンで「PC」を選び、[MENU/SET]を押す

「USBモード」(P.40)が「PictBridge(PTP)」に設定されているとメッセージが表示される場合があります。「キャンセル(中止)」を選んで画面を閉じ、「USBモード」を「PC」に設定してください。

3 パソコンを操作する

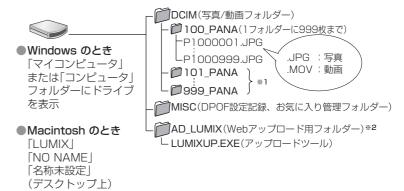
■接続を解除するとき

➡パソコンでタスクトレイの「ハードウェアの安全な取り外しまたは取り出し」を実行

■Windows XP、Windows Vista、Windows 7、Mac OS Xをお使いの場合

「USBモード」(P.40)の設定を「PictBridge(PTP)」にしても、パソコンとPTPモードで接続することもできます。
- 画像の読み出しのみできます。
- カードの中に1000枚以上画像があると、取り込めない場合があります。

取り込みたい画像が入っているフォルダーやファイルを、パソコン上の別のフォルダーにドラッグ＆ドロップするとパソコンに画像を保存することができます。

■フォルダーの構造と名前

※1 フォルダーは次のときに新しく作成されます。
「番号リセット」したとき、フォルダー内のファイル数が999枚を超えたとき、同じフォルダー番号のあるカードを入れたとき(他社のカメラで撮影したものなど)。

※2 AD_LUMIXフォルダー以下のファイルを消去すると共有サイトへのアップロードができませんので、お気をつけください。

- データの管理は、CD-ROM(付属)のソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO」をお使いください。

●カードの抜き差しは、本機の電源を切ってから行ってください。
●通信中にバッテリー残量が少なくなると、警告音が鳴ります。すぐにパソコン側で通信を中止してください。十分に充電されたバッテリーまたはACアダプター(別売：DMW-AC5)およびDCカプラー(別売：DMW-DCC5)を使用してください。
●「USBモード」を「PC」に設定しておくと、パソコンに接続するたびに設定する必要がありません。
●パソコンの説明書をお読みください。
●付属CD-ROMのソフトウェアについて、詳しくは別冊の「パソコン接続ガイド」をお読みください。

パソコンに接続する(つづき)

「PHOTOfunSTUDIO」を使ってパソコンにコピーする

取り込んだ画像はプリントやメール送信などにお使いいただけます。
●動作環境やインストールについて、詳しくは別冊の「パソコン接続ガイド」をお読みください。

画像を共有サイトへアップロードする

アップロードツール(LUMIX WEBアップローダー)を使って、写真や動画を画像共有サイト(LUMIX CLUB PicMate/Facebook/YouTube)へアップロードします。
パソコンに画像を取り込んだり、専用のソフトウェアをインストールする必要がないので、ネットワーク接続されたパソコンさえあれば、外出先などでも簡単に画像をアップロードすることができます。

- Windows XP / Windows Vista / Windows 7 のパソコンにのみ対応しています。(LUMIX WEB アップローダーの取扱説明書は、Internet Explorer でご覧ください)

準備：

- 「WEBアップロード設定」で、アップロードする画像を設定しておく。(P.82)
- パソコンをインターネットに接続する。
- 利用する画像共有サイトにてアカウントを作成し、ログイン情報を用意しておく。

1 「LUMIXUP.EXE」をダブルクリックして起動する

- CD-ROM(付属)のソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO」がインストールされている場合、アップロードツール(LUMIX WEBアップローダー)が自動的に起動することがあります。

2 アップロード先を選ぶ

- パソコンに表示される画面の指示に従って、以降の操作をしてください。

●LUMIX CLUB PicMate について
- デジタルカメラで撮影した写真を共有・公開して楽しむ、SNS型写真共有サイトです。
詳しくは、PicMate のサイトをご覧ください。
http://picmate-club.panasonic.jp/

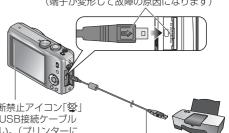
●YouTubeおよびFacebookのサービスおよび仕様変更に対して、将来にわたって動作保証をするものではありません。利用できるサービス内容や画面は予告なく変更になることがあります。
(本サービスは、2010年12月1日現在のものです)
●著作権により保護されている画像は、ご自身が権利を有しているか、関係する権利者から許可を得ている場合を除いてアップロードしないでください。

プリントする

PictBridge(ピクトブリッジ)対応のプリンターに直接接続し、プリントできます。

準備：

- バッテリーを十分に充電しておく。
または、ACアダプター(別売)とDCカプラー(別売)を接続しておく。
- 内蔵メモリーのとき：カードを抜く。
- プリンター側で印字品質などを必要に応じて設定しておく。

端子の向きを確認し、まっすぐ入れる。
(端子が変形して故障の原因になります)

ケーブル切断禁止アイコン「⊗」
- 表示中はUSB接続ケーブルを抜かない。(プリンターによってはアイコンが表示されません)

USB接続ケーブル
- 必ず本機付属のものを使う。

1 本機とプリンターを接続する

- 付属のUSB接続ケーブル以外は使わないでください。故障の原因になります。

2 本機のカーソルボタンで「PictBridge(PTP)」を選び、[MENU/SET]を押す

3 カーソルボタンでプリントする画像を選び、[MENU/SET]を押す

4 カーソルボタンで「プリント開始」を選び、[MENU/SET]を押す

(プリントの各種設定：P.99)

■途中でプリントを中止するとき ➡ [MENU/SET]を押す

●プリント終了後、USB接続ケーブルを外してください。
●カードの抜き差しは、本機の電源を切ってから行ってください。
●接続中にバッテリー残量が少なくなると、警告音が鳴ります。プリントを中止し、USB接続ケーブルを抜いてください。十分に充電されたバッテリーまたはACアダプター(別売:DMW-AC5)およびDCカプラー(別売:DMW-DCC5)を使用してください。

お使いのプリンターによっては、取り出したカードから直接プリントすることもできます。詳しくはプリンターの説明書をお読みください。

「複数プリント」複数まとめてプリントするとき

1 前ページの手順 3 で▲を押して複数プリントに設定する

2 カーソルボタンで項目を選び、[MENU/SET]を押す

- 複数選択： ①カーソルボタンで画像を選び、[DISP.]ボタンを押す
  (解除するとき→再度[DISP.]ボタンを押す)
  ②[MENU/SET]を押す
- 全画像： すべての画像
- プリント設定(DPOF)：「プリント設定」で設定した画像
- お気に入り：「お気に入り」で設定した画像(「お気に入り」画像があり、「ON」に設定時のみ表示)

3 カーソルボタンで「プリント開始」を選び、[MENU/SET]を押す
(プリントの各種設定：次ページ)

●プリント確認画面が表示された場合は、「はい」を選んでください。
●プリント中にオレンジ色の「●」が画面の左上に表示されたときは、プリンターでエラーが発生しています。
●プリント枚数が多いとき、数回に分けてプリントされることがあります。(残り枚数の表示が設定と異なることがあります)

写真に日付や文字を入れる

■「文字焼き込み」せずに日付などをプリントするとき
●お店プリントの場合：撮影日時のみ印刷できます。お店で、日付プリントを指定してください。
- お店にカードを渡す前に、本機で「プリント設定」をしておくと、カードを渡すだけで、プリント枚数や日付プリントを指定しておくことができます。
- 16:9の写真をプリントする場合は、お店が16:9サイズに対応しているか事前に確認してください。

●パソコンの場合：CD-ROM(付属)のソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO」で撮影日時や文字情報の印刷設定ができます。
●プリンターの場合：本機で「プリント設定」をするか、日付プリント対応プリンターをお使いの場合は本機で「日付プリント」(次ページ)を「ON」に設定すると、撮影日時を印刷できます。

本機でプリントの各種設定をする

(「プリント開始」を選ぶ前に設定してください)

1 カーソルボタンで設定項目を選び、[MENU/SET]を押す

設定項目	設定内容
日付プリント	ON(日付プリントする)／OFF
プリント枚数	枚数を設定(最大999枚)
用紙サイズ	[プリンター] を選ぶと、プリンターの設定を優先します。
レイアウト	[プリンター](プリンターの設定を優先)／1面ふちなし 1面ふちあり／[2面](2面)／[4面](4面)

2 カーソルボタンで設定内容を選び、[MENU/SET]を押す

●プリンターが対応していない項目は表示されません。
●「2面」「4面」で同じ写真を並べたいときは、その写真のプリント枚数を2枚/4枚にしてください。
●本機が対応していない用紙サイズやレイアウトでプリントするには[プリンター](プリンター優先)を選び、プリンター側で設定してください。(プリンターの説明書をお読みください)
●「プリント設定」設定時は「日付プリント」と「プリント枚数」の項目は表示されません。
●「プリント設定」をしても、お店やプリンターによって日付プリントされないことがあります。
●「日付プリント」を「ON」にするときは、プリンター側の日付プリント設定も確認してください。(プリンター側の設定が優先される場合があります)

別売品のご紹介

品名	品番
バッテリーパック	DMW-BCG10
バッテリーチャージャー	DMW-BTC2
ACアダプター※	DMW-AC5
DCカプラー※	DMW-DCC5
ソフトケース	DMW-CT20
本革ケース	DMW-CT3
マリンケース	DMW-MCTZ20

※ACアダプターとDCカプラーは、必ずセットでお買い求めください。単独では使用できません。

●記載の品番は2011年4月現在のものです。変更されることがあります。

海外旅行先で使う

チャージャーは、日本国内で使用することを前提として設計されておりますが、海外旅行等での一時的な使用は問題ありません。

●電源電圧(100 V～240 V)、電源周波数(50 Hz、60 Hz)でご使用いただけます。
●市販の変圧器などを使用すると、故障するおそれがあります。
ただし、国、地域によって電源コンセントの形状は異なるため変換プラグが必要です。

■変換プラグの付けかたについて

• ご使用にならないときは変換プラグを電源コンセントから外してください。

■主な国、地域の代表的な電源コンセントのタイプ

北米											
アメリカ合衆国	A	カナダ	A	ハワイ	A						
ヨーロッパ											
イギリス	BF, B3	イタリア	C	オーストリア	C, SE	オランダ	C, SE	ギリシャ	A, B, B3, C, SE	スイス	A, B, C, SE
スウェーデン	B, C, SE	スペイン	A, C, SE	デンマーク	C	ドイツ	A, C, SE	ノルウェー	C	ハンガリー	C
フィンランド	B, C	フランス	A, C, SE	ベルギー	B, C, SE	ロシア	A, C, SE				
アジア											
インド	B, BF, B3, C	インドネシア	B, B3, C, SE	シンガポール	B, BF, B3	タイ	A, BF, C	大韓民国	A, C, SE	台湾	A, C, O
中華人民共和国	すべて	フィリピン	A, O	ベトナム	A, BF, C, SE	香港特別行政区	B, BF, B3, C	マカオ特別行政区	B, BF, B3, C	マレーシア	B, BF, B3, C
オセアニア											
オーストラリア	O	グァム島	A	サイパン島	A	トンガ	O	ニュージーランド	O	フィジー	A, B, C, O
中南米											
アルゼンチン	BF, C, SE	プエルトリコ	A, BF, C	ブラジル	A, C, SE	メキシコ	A, C, SE				
中東・アフリカ											
アラブ首長国連邦	B, BF, B3	エジプト	BF,B3, C, SE	クウェート	B, B3, C	トルコ	A, B, C, SE	南アフリカ共和国	B, BF, B3, C	モロッコ	A, C, SE

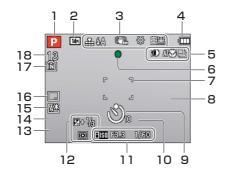
タイプ	A	B	BF	B3	C	SE	O
	アメリカンタイプ	U.K.タイプ			ヨーロピアンタイプ		オーストラリアンタイプ
コンセント形状							
変換プラグ	不要です						

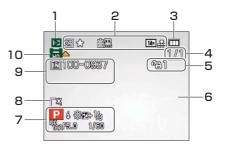
■時計を海外旅行先の時刻に合わせるとき

セットアップメニューの「ワールドタイム」で旅行先を設定すると、旅行先の時刻に切り換わります。

液晶モニターの表示一覧

[DISP.]ボタンを押すと表示が切り換わります。

■撮影時

1　撮影モード(P.18)
2　画質設定(P.78)
記録画素数(P.69)
3　クオリティ(P.70)
フラッシュモード(P.44)
手ブレ補正(P.77)
手ブレ警告(P.20)
ホワイトバランス(P.70)
カラーモード(P.76)
4　バッテリー残量(P.15)
5　連写(P.76)
オートブラケット(P.49)
マクロ撮影(P.46)
暗部補正(P.74)
風音低減(P.78)
6　フォーカス(P.21)
7　AFエリア(P.21)
8　ヒストグラム(P.38)
9　セルフタイマーモード(P.48)
10
フォーカス距離(P.47)
ズーム/マクロズーム(P.46)
11　ISO感度(P.70)
絞り値・シャッタースピード(P.50、51)
下限シャッタースピード(P.75)
12　露出補正(P.49)
追尾AF(P.23、72)
AF補助光(P.76)
測光モード(P.74)
13　現在日時(P.67)
14　名前・月齢/年齢(P.59、64)
旅行先(P.82)
15　トラベル経過日数(P.82)
液晶モード(P.37)
撮影経過時間(P.25)
XXhXXmXXs※
16　日付焼き込み(P.77)
17　保存先(P.15)・記録動作
18　記録可能枚数(P.15)
残り撮影可能時間(P.25)
残XXhXXmXXs※

■再生時

1　再生モード(P.79)
2　プロテクト(P.90)
お気に入り(P.88)
文字焼き込み(P.84)
日付焼き込み(P.77)
カラーモード(P.76)
記録画素数(P.69)
クオリティ(P.70)
3　バッテリー残量(P.15)
4　画像番号/トータル枚数(P.26)
再生経過時間(P.27)
XXhXXmXXs※
5　プリント設定(P.89)
6　ヒストグラム(P.38)
7　タイトル(P.83)
旅行先(P.82)
名前・月齢/年齢(P.59、64)
撮影情報
撮影日時
ワールドタイム(P.67)
8　液晶モード(P.37)
トラベル経過日数(P.82)
9　フォルダー・ファイル番号(P.26、95)
保存先(P.15)
ケーブル切断禁止(P.97)
動画記録時間(P.25)
XXhXXmXXs※
10　動画(P.27)

- タイトル、旅行先、名前(赤ちゃん/ペット)、名前(個人認証)の優先順位で表示されます。
- トラベル経過日数が表示されているときは、月齢/年齢は表示されません。

※hは「hour(時間)」、mは「minute(分)」、sは「second(秒)」を省略した表示です。

メッセージ表示

液晶モニターに表示される、主なメッセージの意味と対処法です。

■カードについて

メッセージ	ここを確認してください
メモリーカードエラー・ フォーマットしますか?	• 本機では認識できないカードです。 →パソコンなどに必要なデータを保存してから本機でフォーマット(P.41)する。
カードを入れ直してください/ 別のカードでお試しください	• カードへのアクセスに失敗しました。 →カードを入れ直す。 • miniSDカード、microSDカード、microSDHCカードをアダプターに入れずに本機に入れた。 →必ずアダプターに入れる。 • 別のカードを入れてお試しください。
メモリーカードエラー カードのパラメータが異常です	• カードがSD規格に準拠していません。 • 4 GB以上のメモリーカードは、SDHCメモリーカードおよびSDXCメモリーカードのみ使用できます。
リードエラー/ライトエラー カードを確認してください	• データの読み込みに失敗しました。 →カードが確実に入っているか確認する。(P.12) • データの書き込みに失敗しました。 →電源を切ってからカードを抜き、再び入れてから電源を入れる。 • カードが壊れている可能性があります。 • 別のカードを入れてお試しください。
カードの書込み速度不足のため 記録を終了しました	• 推奨のスピードクラスのカード(P.14)を使用しても停止した場合は、データの書き込み速度が低下しているので、バックアップをとりフォーマット(P.41)することをおすすめします。 • カードによっては途中で動画撮影が終了する場合があります。
内蔵メモリー残量が不足しています/ メモリーカード残量が不足しています	• 内蔵メモリーまたはカードの空き容量がありません。カードへの一括コピーの場合、カードの空き容量分の画像がコピーされます。
このカードは使用できません	• マルチメディアカードを入れた。 →本機では対応していません。対応するカードをご使用ください。

■バッテリーについて

メッセージ	ここを確認してください
このバッテリーは使えません	• 純正バッテリー(DMW-BCG10)をお使いください。 • バッテリーの端子部が汚れているため、認識できません。 →端子部のごみなどを取り除いてください。

■その他

メッセージ	ここを確認してください
消去できない画像があります/ この画像は消去できません	• DCF規格(P.26)に準拠していない画像は消去できません。 →パソコンなどに必要なデータを保存してから、本機でフォーマットして消去する。(P.41)
設定枚数をこえました	• 一度に複数消去できる枚数を超えています。 • お気に入り設定が999枚を超えています。 • 一度に「タイトル入力」、「文字焼き込み」「リサイズ(縮小)」(複数設定)できる枚数を超えています。
この画像には設定できません	• DCF規格(P.32)に準拠していない画像は「プリント設定」、「タイトル入力」、「文字焼き込み」できません。
電源を入れ直してください /システムエラー	• レンズが正常に動作しませんでした。 →電源を入れ直す。 (それでも表示されるときは、お買い上げの販売店にご相談ください)
コピーできない画像がありました/画像をコピーすることができませんでした	• 次の場合はコピーできません。 →同名の画像がコピー先にある。(カードから内蔵メモリーへコピー時のみ) →DCF規格(P.26)に準拠していないファイル。 →本機以外で撮影・編集された画像。
内蔵メモリーエラー/ フォーマットしますか?	• 内蔵メモリーをパソコンでフォーマットした場合などに表示されます。 →本機でフォーマットし直す。データは消去されます。
フォルダーを作成できません	• フォルダー番号を999まで使っています。 →パソコンなどに必要なデータを保存してから本機でフォーマットする。(P.41)「番号リセット」(P.39)を実行すると、フォルダー番号が100にリセットされます。
16:9TV用で出力します/ 4:3TV用で出力します	• 本機にAVケーブル(付属)が接続されました。 →メッセージをすぐに消す場合:[MENU/SET]を押す。 →画面表示の比率を変える場合:「TV画面タイプ」の設定を変える。(P.40) • USB接続ケーブル(付属)が本機のみに接続されました。 →ケーブルのもう一方を機器に接続すると消えます。

Q&A 故障かな？と思ったら

まず以下の方法をお試しください。それでも解決できない場合は、セットアップメニューの「設定リセット」を行うと症状が改善する場合があります。
（ただし、設定は「時計設定」など一部を除き、お買い上げ時の状態に戻ります）

	こんなときは…	ここを確認してください
電源、バッテリー	電源を入れても動作しない。	• バッテリーが正しく入っていない。(P.12)または、消耗している。
	電源が入っているのに液晶モニターが消灯する。	• 「スリープモード」が働いている。(P.38) →シャッターボタンを半押しして解除してください。 • バッテリーが消耗している。
	電源を入れてもすぐ切れる。	• バッテリーが消耗している。 • 「スリープモード」が働いている。(P.38) →シャッターボタンを半押しして解除してください。

	こんなときは…	ここを確認してください
撮影	撮影できない。	• 撮影/再生切換スイッチが(撮影)になっていない。 • 内蔵メモリーやカードの残量がない。 →不要な画像を消去してください。(P.30)
	撮影した画像が白っぽい。	• レンズが汚れている。(指紋などの汚れがついている) →電源を入れてレンズ鏡筒を出し、レンズの表面を乾いた柔らかい布で軽くふいてください。 • つゆつきが起こっている。(P.6)
	撮影した画像が明るすぎる。または暗すぎる。	• 露出を補正してください。(P.49) • 「下限シャッター速度」を「1/250」など速い値に設定している。(P.75)
	シャッターボタンを1回押すと、複数枚撮影される。	• 「オートブラケット」、「連写」設定時、またはシーンモードの「フラッシュ連写」にしている。
	ピントが合わない。	• 被写体までの距離に応じたモードになっていない。 (撮影モードによって撮影可能範囲が異なります) • 撮影可能範囲から外れている。 • 手ブレや被写体ブレしている。
	撮影した画像がブレる。 手ブレ補正が効かない。	• 暗い場所でシャッタースピードが遅くなり、手ブレ補正が十分に働いていない。 →脇を締め、本機を両手でしっかり持って撮影してください。 • 「下限シャッター速度」を遅い速度に設定したときは、三脚とセルフタイマー(P.48)をおすすめします。
	オートブラケット撮影ができない。	• 記録可能枚数が2枚以下になっている。

	こんなときは…	ここを確認してください
撮影(つづき)	撮影した画像が粗い。 ノイズが出る。	• ISO感度が高い、または、シャッタースピードが遅い。 (お買い上げ時はISO感度が「AUTO」のため、屋内などの撮影ではノイズが出ます) →「ISO感度」を低くしてください。(P.70) →「カラーモード」を「ナチュラル」にしてください。(P.76) →明るい場所で撮影してください。 • シーンモードの「高感度」にしている。 (高感度処理のため画質が少し粗くなります)
	撮影した画像の明るさや色合いが実際と違う。	• 蛍光灯下で撮る場合、蛍光灯の特性によってシャッタースピードが速くなると明るさや色合いが多少変化する場合がありますが、異常ではありません。
	撮影時やシャッター半押し時に、液晶モニターに赤っぽい縦すじが出たり、液晶モニターの一部または全体が赤っぽくなることがある。	• CCDの特徴であり、被写体に明るい部分があると出ます。周辺にムラが発生する場合がありますが、異常ではありません。動画では記録されますが、写真には記録されません。 • 太陽光などの強い光源が画面付近に入らないように撮影することをおすすめします。
	動画撮影が途中で止まる。	• カードの種類により、記録後しばらくアクセス表示が出たり、途中で動画撮影が終了する場合があります。 • 推奨のスピードクラスのカード(P.14)を使用しても停止した場合は、データ書き込み速度が低下しているので、バックアップをとりフォーマット(P.41)することをおすすめします。
	AFロックできない。 (動体追尾できない)	• 被写体と背景の色が似ていると、追尾AFが働かないことがあります。被写体の特徴的な色の部分をAFロックしてください。

	こんなときは…	ここを確認してください
液晶モニター	明るさが不安定になる。	• シャッターボタンを半押ししたときに絞り値を設定するためです。（撮影画像に影響はありません） ズーム操作をしたときや、本機を動かしたときに明るさが変化した場合にもこの現象が発生することがありますが、本機の自動絞り動作によるもので、異常ではありません。
	室内でちらつく。	• 電源周波数が50 Hzの地域では、ちらつく場合があります。（蛍光灯の影響を補正するため）
	明るすぎる、または暗すぎる。	• 「液晶モード」が働いている。（P.37）
	黒、赤、青、緑の点やノイズが現れる。液晶モニターを押さえるとムラが出る。	• 故障ではありません。記録されませんので、安心してお使いください。

	こんなときは…	ここを確認してください
フラッシュ	発光しない。	• （発光禁止）に設定している。（P.44） • 「オートブラケット」、「連写」設定時、シーンモードの「風景」「パノラマアシスト」「夜景」「夕焼け」「星空」「花火」「空撮」では発光しません。
	複数回発光する。	• 赤目軽減になっている。（P.44） （瞳が赤く写るのをおさえるため2回発光します） • シーンモードの「フラッシュ連写」にしている。

	こんなときは…	ここを確認してください
再生	画像が勝手に回転して小さく表示される。	• 「回転表示」を にしている。
	再生できない。 撮影した画像がない。	• 撮影/再生切換スイッチが （再生）になっていない。 • 内蔵メモリーまたはカードに画像がない。（カードが入っている場合はカードの、入っていない場合は内蔵メモリーの画像を再生します） • パソコンでファイル名を変更した画像ではないですか？その場合、本機で再生することはできません。 • 再生モードが変更されている。 →「通常再生」に設定してください。（P.79）
	フォルダー・ファイル番号が「ー」で表示される。 画像が黒く表示される。	• パソコンで編集、または他機で撮影した。 • 撮影直後にバッテリーを外した。または、残量が少ないバッテリーで撮影した。 →消去するには：本機でフォーマットしてください。（P.41）
	カレンダー再生で、撮影日と違う日付に表示される。	• パソコンで編集、または他機で撮影した。 • 「時計設定」が正しくない。（P.16） （パソコンの時計と異なる場合、一度パソコンにコピーした画像を本機に戻してカレンダー再生すると、撮影日と違う日付で表示されることがあります）

	こんなときは…	ここを確認してください
再生（つづき）	撮影した画像にシャボン玉のような白く丸い点が写り込んでいる。	• 室内や暗い場所でフラッシュを使い撮影した場合に、空気中のほこりがフラッシュに反射して白く丸い点として写り込む場合がありますが、異常ではありません。撮影ごとに丸い点の位置や数が変化するのが特徴です。
	画面に「サムネイル表示」と表示される。	• 他機で撮影された写真ではないですか？その場合、画質が劣化して表示されることがあります。
	撮影した画像の赤い部分が黒く変色している。	• デジタル赤目補正（、、）が動作しているとき、肌色に近い色とその内側に赤い模様などがある被写体を撮影した場合、デジタル赤目補正機能の働きにより、その赤い部分が黒く補正される場合があります。 →フラッシュを 、、 または「デジタル赤目補正」を「OFF」にして撮影することをおすすめします。
	動画に本機の操作音・ズーム音が録音される。	• 動画撮影中に本機が自動でレンズの絞りを調整するため動作音が録音される場合がありますが、異常ではありません。
	本機で撮影した動画が他機で再生できない。	• 本機で撮影した動画（Motion JPEG）は、他社製デジタルカメラでは再生できない場合があります。また、当社製デジタルカメラ（LUMIX）※においても再生できない場合があります。 ※2008年12月以前発売分、および2009年発売のFS,LSシリーズ

	こんなときは…	ここを確認してください
テレビ、パソコン、プリンター	テレビに画像が出ない。 画面が流れたり色が付かない。	• 正しく接続していない。（P.93） • テレビの入力切換を外部入力にしていない。
	テレビ画面と液晶モニターの表示が違う。	• テレビの機種によっては、正しい横縦比にならなかったり、端が切れることがあります。
	テレビで動画再生できない。	• テレビにカードを入れている。 →AVケーブル（付属）で接続し、本機で再生してください。（P.93）
	テレビ画面いっぱいに画像が表示されない。	• 「TV画面タイプ」を確認する。（P.40）
	パソコンに画像を転送できない。	• 正しく接続していない。（P.94） • パソコンが本機を正常に認識しているか確認してください。 • 本機の「USBモード」を「PC」にしてください。（P.40）
	パソコンにカードが認識されない。（内蔵メモリーになっている）	• USB接続ケーブル（付属）を抜き、カードを入れた状態で再度接続してください。
	パソコンにカードが認識されない。（SDXCメモリーカードを使用している）	→お使いのパソコンがSDXCメモリーカードに対応しているか確認してください。 http://panasonic.jp/support/sd_w/ →接続時にカードのフォーマットを促すメッセージが表示されることがありますが、フォーマットしないでください。 →液晶モニターの「通信中」の表示が消えない場合、電源を切ってからUSB接続ケーブルを抜いてください。
	LUMIX CLUB PicMate、YouTube、Facebookへのアップロードがうまくいかない。	→ログイン情報（ログインID／ユーザー名／メールアドレス／パスワード）が間違っていないか確認してください。 →パソコンがインターネットに接続されているか確認してください。 →ウィルス対策ソフトやファイアウォールなどの常駐ソフトが、PicMate／YouTube／Facebookへのアクセスをブロックしていないか確認してください。 →PicMate(http://picmate-club.panasonic.jp/)やYouTube、またはFacebook のサイトもご確認ください。
	プリンターに接続してもプリントができない。	• PictBridge対応機を使用していない。 • 本機の「USBモード」を「PictBridge(PTP)」にしてください。（P.40）
	プリントすると、画像の端が切れる。	• プリンターにトリミングやふちなし印刷機能がある場合、その設定を解除してプリントしてください。（プリンターの説明書をお読みください） • 「画像横縦比」「16:9」で撮影した。 →お店に依頼した場合、16:9のサイズに対応しているか確認してください。

	こんなときは…	ここを確認してください
その他	本機を振ると「カタカタ」と音がする。	• レンズが移動する音で、故障ではありません。
	暗い場所でシャッターボタンを半押しすると、赤いランプが点灯する。	• 「AF補助光」を「ON」にしている。（P.76）
	AF補助光が点灯しない。	• 「AF補助光」を「OFF」にしている。
	本機が熱くなる。	• ご使用時、多少熱くなることがありますが、性能・品質には問題ありません。
	レンズ部から「カチッ」と音がする。	• 明るさが変化した場合、レンズ部から音がして、液晶モニターの明るさが変わるときがありますが、これは、絞り値を設定するためです。（撮影に影響はありません）
	時計が合っていない。	• 長期間放置した。 →再度時計を設定する。（P.17） • 時計設定に時間がかかった。（その分時間がずれます）
	ズーム撮影すると画像がわずかにゆがんだり、被写体の周りに実際にはない色が付く。	• 倍率によってわずかにゆがんだり、輪郭などに着色して撮影されることがありますが、異常ではありません。
	ズームの動きが一瞬止まる。	• EX光学ズーム時またはiAズーム時、ズームの動きが一瞬止まりますが、異常ではありません。
	ズームが最大倍率にならない。	• ズーム倍率が3倍で止まる場合、ズームマクロが設定されています。（P.46）
	ファイル番号が連続して記録されない。	• 新しいフォルダーが作成される場合は、ファイル番号がリセットされます。（P.95）
	ファイル番号がさかのぼって記録される。	• 電源を切らずにバッテリーを抜き差しした。（フォルダー・ファイル番号を正しく記録できないと、番号がさかのぼって記録される場合があります）
	放置していたら、突然デモが表示される。	• これは本機の特長を紹介する自動デモです。[MENU/SET]を押すと、元の画面に戻ることができます。

使用上のお願いとお知らせ

お使いのとき

- 長時間、連続して使用すると本体が温かくなりますが、異常ではありません。
- 磁気や電磁波、電波、高電圧による画像や音声の乱れを防ぐために、テレビ、電子レンジ、ゲーム機、スピーカー、大型モーター、電波塔や高圧線の近くでは使用しない。
  上記影響で正常に動作しないときは、電源を切ってからバッテリーやACアダプター(別売)とDCカプラー(別売)を抜き、再度取りつける。
- 付属のコードやケーブルを使用し、延長して使わない。
- 殺虫剤や揮発性のものを本機にかけない。(変質や塗装はがれの原因になります)

お手入れのとき

お手入れの際は、バッテリーを取り出しておく、または電源プラグをコンセントから抜き、乾いた柔らかい布でふいてください。

- 汚れがひどいときは、水にひたした布をよく絞ってから汚れをふき取り、その後、乾いた布でふいてください。
- ベンジン、シンナー、アルコール、台所洗剤などの溶剤は、外装ケースが変質したり、塗装がはげるおそれがありますので使用しないでください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。
- レンズバリア部を触らないでください。

しばらく使わないとき

- 電源を切ってからバッテリーとカードは抜いておく。
  (特にバッテリーは、過放電により故障の原因になります)
- ゴムやビニール製品に接触させたままにしない。
- 押し入れなどでは、乾燥剤(シリカゲル)とともに保管する。また、バッテリーは、涼しく(15 ℃～25 ℃)、湿気の少ない(湿度40 %RH～60 %RH)、温度変化の少ない場所で保管する。
- 1年に1回は充電し、いったん使用して、残量がなくなってから再保管する。

カードやデータについて

- カードやデータの破損を防ぐために
  - 高温や直射日光、電磁波、静電気を避ける。
  - 折り曲げない、落とさない、強い振動を与えない。
  - カード裏の端子部に触れない、汚さない、ぬらさない。
- メモリーカードを廃棄／譲渡するときのお願い
  - 本機やパソコンの機能による「フォーマット」や「消去」では、ファイル管理情報が変更されるだけで、メモリーカード内のデータは完全に消去されません。
    廃棄/譲渡の際は、メモリーカード本体を物理的に破壊するか、市販のパソコン用データ消去ソフトなどを使ってメモリーカード内のデータを完全に消去することをおすすめします。メモリーカード内のデータはお客様の責任において管理してください。

液晶モニターについて

- 液晶モニターを強く押さえないでください。画面にムラが出たり、故障の原因になります。
- 寒冷地などで本機が冷えきっている場合、電源を入れた直後は液晶モニターが通常より少し暗くなります。内部の温度が上がると通常の明るさに戻ります。

液晶モニターは、精密度の高い技術で作られていますが、画面上に黒い点が現れたり、常時点灯(赤や青、緑の点)することがあります。これは故障ではありません。液晶モニターの画素については99.99%以上の高精度管理をしておりますが、0.01%以下で画素欠けするものがあります。またこれらの点は、内蔵メモリーやカードの画像には記録されませんのでご安心ください。

バッテリーについて

本機で使用するバッテリーは、充電式リチウムイオン電池です。
このバッテリーは温度や湿度の影響を受けやすく、温度が高くなる、または、低くなるほど影響が大きくなります。

- 使用後は、必ずバッテリーを取り出す
  - 取り出したバッテリーはポリ袋に入れ、金属類(クリップなど)から離して保管、持ち運びしてください。
- 出かけるときは予備のバッテリーを準備する
  - スキー場などの寒冷地では撮影できる時間がより短くなります。
  - 旅行をされるときは、現地でバッテリーを充電できるようにチャージャー(付属)も忘れずに準備してください。海外で使う場合は、変換プラグが必要な場合があります。(P.129)
- バッテリーを誤って落下させてしまった場合、端子部が変形していないか確認する
  - 端子部が変形したまま本機に入れると、本機をいためます。

不要になった電池は、捨てないで充電式電池リサイクル協力店へご持参ください。

使用済み充電式電池の届け先

最寄りのリサイクル協力店へ
詳細は、一般社団法人JBRCのホームページをご参照ください。
ホームページ http://www.jbrc.net/hp

充電式
リチウムイオン
電池使用
Li-ion 20

使用済み充電式電池の取り扱いについて

- 端子部をセロハンテープなどで絶縁してください。
- 分解しないでください。

本機で使用できるバッテリーについて

- 専用バッテリー(DMW-BCG10)以外に当社が認定する他社製バッテリーについては、当社ホームページでご確認ください。
  http://panasonic.jp/support/info/cer_battery.html
  なお、純正品以外の他社製バッテリーの品質・性能・安全性などについては、当社では一切保証できませんので、あらかじめご了承ください。
  品質・性能・安全性などについては、その製造者が責任を負います。

チャージャーについて

●チャージャーやバッテリーの端子部の汚れを乾いた布で取る。
●AMラジオからは1 m離す。（ラジオに雑音が入る原因になります）
●チャージャーの内部で音がすることがありますが、異常ではありません。
●充電が完了したら、チャージャーを電源コンセントから抜きバッテリーを取り出してください。（放置すると、最大0.1 W電力消費）

レンズについて

●レンズが汚れたら電源を入れ、レンズ鏡筒を出した状態でレンズ鏡筒を指で固定して、レンズの表面を乾いた柔らかい布で軽くふいてください。（レンズに指紋などの汚れが付くと画像が白っぽくなるときがあります）
●レンズ部を太陽に向けたまま放置しないでください。
●レンズバリア部を触らないでください。（故障の原因になります。カバンなどから取り出すときにも気をつけてください。）

三脚／一脚を使うとき

●無理な力を加えたり、斜めにねじ止めしないでください。（本体、ねじ穴、定格ラベルの損傷の原因になります）
●三脚が安定していることを確認してください。（三脚の説明書もお読みください）

個人情報について

赤ちゃんモード／個人認証機能で名前または誕生日を設定した場合は、カメラ内および撮影した画像に個人情報が含まれます。

●免責事項
- 個人情報を含む情報は、誤操作、静電気の影響、事故、故障、修理、その他の取り扱いによって変化、消失することがあります。
  個人情報を含む情報の変化、消失が生じても、それらに起因する直接または間接の損害については、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

●修理依頼または譲渡／廃棄されるとき
- 個人情報保護のため、設定をリセットしてください。（P.39）
- 内蔵メモリーに画像がある場合は、必要に応じてメモリーカードにコピー(P.92)をし、その後内蔵メモリーをフォーマット(P.41)してください。
- メモリーカードは、本機より取り出してください。
- 修理をすると、内蔵メモリーおよび設定は、お買い上げ時の状態に戻る場合があります。
- 故障の状態により上記の操作が困難な場合は、お買い上げの販売店までご相談ください。

メモリーカードを譲渡／廃棄する際は、「●メモリーカードを廃棄／譲渡するときのお願い」をお読みください。（P.112）

■このマークがある場合は

ヨーロッパ連合以外の国の廃棄処分に関する情報

このシンボルマークはEU域内でのみ有効です。
製品を廃棄する場合には、最寄りの市町村窓口、または販売店で、正しい廃棄方法をお問い合わせください。

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

Q&A その他

仕様

電源	●DC 5.1 V
消費電力	● 1.1 W(撮影時)　●0.6 W(再生時)

カメラ有効画素数	1410万画素
撮像素子	1/2.33型CCD　総画素数1450万画素　原色カラーフィルター
レンズ	光学16倍ズーム　f=4.3～68.8 mm (35 mmフィルムカメラ換算：24～384 mm)／ F3.3(W端時)～F5.9(T端時)
デジタルズーム	最大4倍
EX光学ズーム	最大33.8倍(300万画素「3M」以下時)
フォーカス	通常／AFマクロ／ズームマクロ 顔認識／追尾AF／23点／1点／スポット
撮影可能範囲	●P／A／S／M　50 cm(W端)／2 m(T端)～∞ ●マクロ・インテリジェントオート　3 cm(W端)／1 m(T端)～∞(7倍～11倍は2 m～∞) ●動画撮影モード　マクロと同じ ●シーンモード　上記範囲と異なる場合あり
シャッターシステム	電子シャッター連動メカニカルシャッター
連写撮影 速度 枚数	 1.9コマ/秒(連写) 最大5コマ(スタンダード)、最大3コマ(ファイン)
高速連写 速度 枚数	 10コマ/秒(速度優先時)、約5コマ/秒(画質優先時) 内蔵メモリー使用時：約15枚(フォーマット直後) カード使用時：最大100枚(カードの種類、撮影条件によって異なる)
ISO感度	AUTO／i.ISO／100／200／400／800／1600 (シーンモードの「高感度」：1600～6400)
シャッタースピード	60～1/4000秒　シーンモードの「星空」：15秒、30秒、60秒
ホワイトバランス	オート(AWB)／晴天／曇り／日陰／白熱灯／セットモード
露出	プログラムAE(P)、絞り優先AE(A)、シャッター優先AE(S)、マニュアル露出(M)、露出補正(1/3 EVステップ、−2 EV～+2 EV)
測光方式	マルチ測光／中央重点測光／スポット測光
液晶モニター	3.0型TFT液晶(4:3)(約23万ドット)(視野率約100 %)
フラッシュ	撮影可能範囲：約60 cm～5.0 m(W端、「AUTO」設定時) オート／赤目軽減オート／強制発光(赤目軽減強制)／ 赤目軽減スローシンクロ／発光禁止
マイク	モノラル
スピーカー	モノラル

記録メディア	内蔵メモリー(約70 MB) SDXCメモリーカード／SDHCメモリーカード／SDメモリーカード
記録画素数：写真	●画像横縦比[4:3]設定時 4320×3240画素／3648×2736画素／3072×2304画素/2560×1920画素／2048×1536画素／640×480画素 ●画像横縦比[3:2]設定時 4320×2880画素／3648×2432画素／3072×2048画素／2560×1712画素／2048×1360画素／640×424画素 ●画像横縦比[16:9]設定時 4320×2432画素／3648×2056画素／3072×1728画素／2560×1440画素／1920×1080画素／640×360画素 ●画像横縦比[1:1]設定時 3232×3232画素／2736×2736画素／2304×2304画素／1920×1920画素／1536×1536画素／480×480画素
画質設定：動画	1280×720画素／640×480画素／320×240画素 30コマ/秒　モノラル音声付き
クオリティ(圧縮率)	ファイン／スタンダード
記録画像ファイル形式	写真：JPEG(DCF準拠、Exif2.3準拠／DPOF対応) 音声付き動画：QuickTime Motion JPEG
インターフェース	デジタル：USB 2.0(High Speed) アナログビデオ/オーディオ： NTSC/PALコンポジット出力(メニュー切り換え)、 オーディオ出力(モノラル)
端子	AV OUT/DIGITAL：専用ジャック(8 pin)
寸法	約幅104.9 mm×高さ57.6 mm×奥行き33.4 mm(突起部除く)
質量	約210 g(カード、バッテリー含む) 約188 g(本体)
推奨使用温度	0 ℃～40 ℃
許容相対湿度	10 % RH～80 % RH
言語切換	なし(日本語のみ)

■専用バッテリーチャージャー(DE-A65A)

定格出力	DC4.2 V　0.65 A(充電時)
定格入力	AC100 V～240 V　50/60 Hz
入力容量	15 VA(100 V/240 V)

■バッテリーパック(DMW-BCG10)

電圧/容量	3.6 V/895mAh
種類	リチウムイオン

安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 危険	「死亡や重傷を負うおそれが大きい内容」です。
⚠ 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠ 注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。（次は図記号の例です）

してはいけない内容です。	実行しなければならない内容です。

⚠ 危険

バッテリーチャージャー※は、本機専用のバッテリーにのみ使用する（※以降は、「チャージャー」と表記）

液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、けがをする原因になります。

バッテリーは、正しく使う

指定以外の充電器で充電すると、液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、けがをする原因になります。

- 専用のチャージャーで充電する

バッテリーパック※は、誤った使いかたをしない（※以降は、「バッテリー」と表記）

液もれ・発熱・発火・破裂の原因になります。

- 指定外のものは使わない
- 分解や加工（はんだづけなど）、加圧、加熱（電子レンジやオーブンなどで）しない
- 水などの液体や火の中へ入れたりしない
- 炎天下（特に真夏の車内）など、高温になるところに放置しない
- 端子部（⊕・⊖）に金属を接触させない
- バッテリーの液もれが起こったら、お買い上げの販売店にご相談ください。液が身体や衣服についたら、水でよく洗い流してください。液が目に入ったら、失明のおそれがあります。すぐにきれいな水で洗い、医師にご相談ください。

⚠ 警告

異常・故障時には直ちに使用を中止する

異常があったときには、バッテリーを外す

- ●煙が出たり、異常なにおいや音がする
- ●映像や音声が出ないことがある
- ●内部に水や異物が入った
- ●電源プラグが異常に熱い
- ●本体やチャージャーが破損した

そのまま使うと火災・感電の原因になります。

- チャージャーを使っている場合は、電源プラグを抜いてください。
- 電源を切り、販売店にご相談ください。

チャージャーは、誤った使いかたをしない

火災・感電・ショートの原因になります。

- 加工しない・傷つけない
- 熱器具に近づけない
- 傷んだら使わない
- 差し込みがゆるい電源コンセントには使わない
- たこ足配線や定格外（交流100 V～240 V以外）で使わない
- ぬれた手で抜き差ししない

電源プラグは、正しく扱う

火災・感電・ショートの原因になります。

- 定期的に乾いた布でふく（ほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります）
- 根元まで確実に差し込む
- 接点部周辺に金属類（クリップなど）を放置しない

分解、改造をしない

分解禁止

内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。

内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたりぬらしたりしない

ショートや発熱により、火災・感電・故障の原因になります。

- 機器の近くに水などの液体の入った容器や金属物を置かないでください。
- 特にお子様にはご注意ください。

安全上のご注意 必ずお守りください（つづき）

⚠ 警告

乗り物の運転中に使わない

事故の誘発につながります。
- 歩行中も、周囲や路面の状況に十分注意する

運転者などに向けてフラッシュを発光しない

事故の誘発につながります。

電源を入れたまま長時間、直接触れて使用しない

本機の温度の高い部分に長時間、直接触れていると低温やけど※の原因になります。長時間ご使用の場合は、三脚などをお使いください。

※血流状態が悪い人（血管障害、血液循環不良、糖尿病、強い圧迫を受けている）や皮膚感覚が弱い人などは、低温やけどになりやすい傾向があります。

メモリーカードは乳幼児の手の届くところに置かない

誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。
- 万一、飲み込んだら、すぐ医師にご相談ください。

可燃性・爆発性・引火性のガスなどのある場所で使わない

火災や爆発の原因になります。
- 粉じんの発生する場所でも使わない

雷が鳴ったら、触れない

接触禁止

感電の原因になります。
- 本体やチャージャーには、金属部があります。

⚠ 注意

フラッシュ発光部およびAF補助光は、至近距離（数cm）で直接見ない

誤って発光した場合、視力障害などの原因になることがあります。

フラッシュを人の目に近づけて発光しない

視力障害などの原因になることがあります。
- 乳幼児を撮影するときは、1 m以上離してください。

フラッシュの発光部分を直接手で触らない・ごみなどの異物が付いたまま使わない・テープなどでふさがない

やけどの原因になることがあります。
発光熱によって煙などが出る原因になることがあります。
- 発光直後は、しばらく触らないでください。

次のような場所に放置しない

火災や感電の原因になることがあります。
- 異常に温度が高くなるところ（特に真夏の車内やボンネットの上など）
- 油煙や湯気の当たるところ
- 湿気やほこりの多いところ

レンズを太陽や強い光源に向けたままにしない

集光により、内部部品が破損し、火災の原因になることがあります。

次のときは、バッテリーを取り出す

バッテリーを入れたまま放置すると、絶縁劣化やろう電などにより、火災の原因になることがあります。
- 長期間使わないとき
- お手入れのとき

病院内や機内では、病院や航空会社の指示に従う

本機からの電磁波などが、計器類に影響を及ぼすことがあります。

保証とアフターサービス （よくお読みください）

使いかた・お手入れ・修理 などは

■まず、お買い求め先へ ご相談ください

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名
電　話（　　　　　）　　－
お買い上げ日　　　　年　　　月　　　日

修理を依頼されるときは

「メッセージ表示」「Q & A 故障かな？と思ったら」（104〜111）でご確認のあと、直らないときは、接続している電源を外して、お買い上げ日と下の内容をご連絡ください。

●製品名	デジタルカメラ
●品　番	DMC-TZ18
●故障の状況	できるだけ具体的に

●保証期間中は、保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理させていただきますので、おそれ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。

保証期間: お買い上げ日から本体1年間
(但し、CD-ROM内のソフトウェアの内容は含みません)

●保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により修理させていただきます。

※修理料金は次の内容で構成されています。

[技術料] 診断・修理・調整・点検などの費用
[部品代] 部品および補助材料代
[出張料] 技術者を派遣する費用

※補修用性能部品の保有期間 [8年]
当社は、このデジタルカメラの補修用性能部品(製品の機能を維持するための部品)を、製造打ち切り後8 年保有しています。

■転居や贈答品などでお困りの場合は、次の窓口にご相談ください

ご使用の回線(IP電話やひかり電話など)によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

●使いかた・お手入れなどのご相談は…

パナソニック LUMIX(ルミックス)ご相談窓口　365日 受付9時〜20時
電 話 フリーダイヤル **0120-878-638**
※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

●修理に関するご相談は…………………

パナソニック 修理ご相談窓口
電 話 フリーダイヤル **0120-878-554**
※携帯電話・PHSからもご利用になれます。
• 上記電話番号がご利用いただけない場合は、各地域の「修理ご相談窓口」におかけください。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】
パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

愛情点検　長年ご使用のデジタルカメラの点検を!

こんな症状はありませんか	• 煙が出たり、異常なにおいや音がする • 映像や音声が乱れたり出ないことがある • 内部に水や異物が入った • 本体やチャージャーが破損した • その他の異常や故障がある
ご使用中止	故障や事故防止のため、電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店に点検をご相談ください。

■ 各地域の 修理ご相談窓口

※電話番号をよくお確かめの上、おかけください。

• 地区・時間帯によって、集中修理ご相談窓口に転送させていただく場合がございます。

地区	窓口	電話番号	所在地
北海道地区	札 幌	☎(011)894-1251	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7
	旭 川	☎(0166)22-3011	旭川市2条通16丁目1166
	帯 広	☎(0155)33-8477	帯広市西20条北2丁目23-3
	函 館	☎(0138)48-6631	函館市西桔梗589番地241（函館流通卸センター内）
東北地区	青 森	☎(017)775-0326	青森市大字浜田字豊田364
	秋 田	☎(018)868-7008	秋田市外旭川字小谷地3-1
	岩 手	☎(019)645-6130	盛岡市厨川5丁目1-43
	宮 城	☎(022)387-1117	仙台市宮城野区扇町7-4-18
	山 形	☎(023)641-8100	山形市平清水1丁目1-75
	福 島	☎(024)991-9308	郡山市亀田1丁目51-15
首都圏地区	栃 木	☎(028)689-2555	宇都宮市上戸祭3丁目3-19
	群 馬	☎(027)254-2075	前橋市箱田町325-1
	茨 城	☎(029)864-8756	つくば市筑穂3丁目15-3
	埼 玉	☎(048)728-8960	桶川市赤堀2丁目4-2
	千 葉	☎(043)208-6034	千葉市中央区末広5丁目9-5
	東 京	☎(03)5477-9700	東京都世田谷区宮坂2丁目26-17
	山 梨	☎(055)222-5822	甲府市宝1丁目4-13
	神奈川	☎(045)847-9720	横浜市港南区日野5丁目3-16
	新 潟	☎(025)286-0180	新潟市東区東明1丁目8-14
中部地区	石 川	☎(076)280-6608	金沢市玉鉾2丁目266番地
	富 山	☎(076)424-2549	富山市根塚町1丁目1-4
	福 井	☎(0776)21-0622	福井市問屋町2丁目14
	長 野	☎(0263)86-9209	松本市寿北7丁目3-11
	静 岡	☎(054)287-9000	静岡市駿河区高松2丁目24-24
	愛 知	☎(052)819-0225	名古屋市瑞穂区塩入町8-10
	岐 阜	☎(058)278-6720	岐阜市中鶉4丁目42
	高 山	☎(0577)33-0613	高山市花岡町3丁目82
	三 重	☎(059)254-5520	津市久居野村町字山神421
近畿地区	滋 賀	☎(077)582-5021	守山市水保町1166番地の1
	京 都	☎(075)646-2123	京都市南区上鳥羽中河原3番地
	大 阪	☎(06)7730-8888	大阪市城東区関目2丁目15-5
	奈 良	☎(0743)59-2770	大和郡山市筒井町800番地
	和歌山	☎(073)475-2984	和歌山市中島499-1
	兵 庫	☎(078)796-3140	神戸市須磨区弥栄台3丁目13-4

地区	窓口	電話番号	所在地
中国地区	鳥 取	☎(0857)26-9695	鳥取市安長295-1
	米 子	☎(0859)34-2129	米子市米原4丁目2-33
	松 江	☎(0852)23-1128	松江市平成町182番地14
	出 雲	☎(0853)21-3133	出雲市渡橋町416
	浜 田	☎(0855)22-6629	浜田市下府町327-93
	岡 山	☎(086)242-6236	岡山市北区田中138-110
	広 島	☎(082)295-5011	広島市西区南観音1丁目13-5
	山 口	☎(083)973-2720	山口市小郡下郷220-1
四国地区	香 川	☎(087)868-6388	高松市勅使町152-2
	徳 島	☎(088)624-0253	徳島市沖浜2丁目36
	高 知	☎(088)834-3142	高知市仲田町2-16
	愛 媛	☎(089)905-7544	愛媛県伊予郡砥部町八倉75-1
九州地区	福 岡	☎(092)593-8002	春日市春日公園3丁目48
	佐 賀	☎(0952)26-9151	佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3044
	長 崎	☎(095)830-1658	長崎市東町1919-1
	大 分	☎(097)556-3815	大分市萩原4丁目8-35
	宮 崎	☎(0985)63-1213	宮崎市本郷北方字草葉2099-2
	熊 本	☎(096)367-6067	熊本市健軍本町12-3
	天 草	☎(0969)22-3125	天草市港町18-11
	鹿児島	☎(099)250-5657	鹿児島市与次郎1丁目5-33
	大 島	☎(0997)53-5101	奄美市名瀬朝仁町11-2
沖縄地区	沖 縄	☎(098)877-1207	浦添市城間4丁目23-11

所在地、電話番号は変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。
最新の「各地域の修理ご相談窓口」はホームページをご活用ください。
http://panasonic.co.jp/cs/service/area.html 1210

さくいん

会員サイト「CLUB Panasonic」で「ご愛用者登録」をしてください

PC http://club.panasonic.jp/ 携帯

※このサービスはWEB限定のサービスです。

●使いかた・お手入れなどのご相談は…

パナソニック 総合お客様サポートサイト

http://panasonic.co.jp/cs/

パナソニック LUMIX(ルミックス)ご相談窓口 365日 受付9時～20時

電話 フリーダイヤル **0120-878-638**

※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

■上記番号がご利用いただけない場合 **06-6907-1187**

■FAX フリーダイヤル **0120-878-236**

Help desk for foreign residents in Japan

Tokyo (03) 3256-5444 **Osaka** (06) 6645-8787

Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays / Sundays / national holidays)

※上記の内容は、予告なく変更する場合があります。ご了承ください。

●修理に関するご相談は………

パナソニック 修理サービスサイト

http://lumix.jp/repair/

インターネットでのご依頼も可能です。

パナソニック 修理ご相談窓口

電話 フリーダイヤル 携帯･PHS OK **0120-878-554**

※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

- 上記電話番号がご利用いただけない場合は、各地域の「修理ご相談窓口」におかけください。

- 有料で宅配便による引取・配送サービスも承っております。

ご使用の回線(IP 電話やひかり電話など)によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。本書の「保証とアフターサービス」もご覧ください。

パナソニック株式会社
AVCネットワークス社　イメージング事業グループ
〒571-8504 大阪府門真市松生町1番15 号

VQT3Q34
M0311KZ0